

施策評価調書(1)

評価対象年度

令和6年度

めざす姿	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”
施策名	1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進
施策関係課	(建設部)道路街路課／(都市計画部)都市計画課・住宅政策課・開発審査課・建築安全課／(都市整備部)都市整備管理課・再開発課・市街地整備室・区画整理課・区画整理組合推進室・西部土地地区画整理事務所・東部土地地区画整理事務所・北部土地地区画整理事務所・里土地地区画整理事務所

●施策の基本方針(目標)

適正な土地利用と適切な都市機能の配置を図り、環境にやさしく災害に強い、機能的で、誰もが快適で安全・安心に生活できる持続可能な都市の形成をめざします。

●目標指標

指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:V-1)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)		現状値	27.5(令和2年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	25.200	27.300	27.400	26.900	0.000	
指標②	名称	土地地区画整理事業の進捗率				単位	%
	目標値	65.0(令和7年度)		現状値	58.0(令和元年度)	指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	59.700	60.600	61.200	62.100	0.000	
指標③	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標④	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額	令和7年度予算額
	事業費	5,656,787	5,371,823	7,059,951	8,392,135	11,119,714
	概算人件費	849,822	859,166	890,409	1,026,432	1,016,251
	総事業費	6,506,609	6,230,989	7,950,360	9,418,567	12,135,965

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策①	単位施策②	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
		52	55	56	
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B	53	54	54.0	

施策評価調書(2)

評価対象年度 令和6年度

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

単位施策名 ① 計画的な土地利用の推進								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
川口元郷1丁目2番地区優良建築物 等整備事業	都市整備部	—	0	10,758	22,580	126,740	56	拡充して実施
	再開発課	—	3,465	3,555	4,212	4,731		
都市計画事業	都市計画部	5,643	9,658	17,243	21,402	12,994	54	縮小して実施
	都市計画課	17,380	16,940	19,750	23,085	23,655		
都市計画基礎調査事業	都市計画部	7,205	2,860	1,340	3,245	3,685	48	現状維持で実 施
	都市計画課	3,950	3,850	1,580	2,835	2,905		
都市計画審議会経費	都市計画部	196	396	273	266	444	56	現状維持で実 施
	都市計画課	2,765	2,695	2,765	2,835	2,905		
川口駅東口公共広場管理事業	都市整備部	5,648	5,460	6,167	8,171	9,943	48	現状維持で実 施
	都市整備管理課	5,925	5,390	6,320	8,748	13,280		

単位施策名 ② 市街地整備の推進								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
川口本町4丁目9番地区第一種市街 地再開発事業	都市整備部	135,810	0	1,645,702	1,246,922	1,808,500	56	拡充して実施
	再開発課	12,640	12,320	11,455	12,312	12,201		
市街地総合事業協議会支援事業	都市整備部	200	200	200	200	135	54	現状維持で実 施
	再開発課	3,950	3,850	3,950	4,050	4,150		
桜町地区住宅市街地総合整備事業	都市整備部	14,932	21,202	10,785	74,491	64,888	54	現状維持で実 施
	再開発課	15,800	18,480	22,120	22,680	25,315		
芝中央沿道第1土地区画整理事業	都市整備部	202,550	29,061	104,322	141,985	101,691	56	現状維持で実 施
	市街地整備室	19,355	18,865	19,355	19,845	20,335		
芝中央沿道土地区画整理事業	都市整備部	36,113	67,903	36,962	144,344	—	58	完了
	市街地整備室	3,160	3,080	3,160	3,240	—		
芝地区住宅市街地総合整備事業	都市整備部	225,523	272,484	299,545	663,639	742,686	58	縮小して実施
	市街地整備室	34,997	34,111	34,997	35,883	36,769		
芝中央地区住宅市街地総合整備事業	都市整備部	29,585	17,473	84,149	35,650	244,895	56	拡充して実施
	市街地整備室	7,900	7,700	7,900	8,100	8,300		
新井宿駅北側及び戸塚安行駅南側地 区区画整理事業	都市整備部	46,090	71,026	26,719	49,275	69,164	54	現状維持で実 施
	区画整理課	18,960	18,480	20,540	21,060	21,580		
組合区画整理推進事業費	都市整備部	323,140	392,523	605,160	500,037	662,481	48	拡充して実施
	区画整理組合推進室	126,400	123,200	126,400	129,600	132,800		
芝東第3地区住宅市街地総合整備事 業	都市整備部	26,363	28,542	18,108	27,626	36,500	54	拡充して実施
	西部土地区画整理事務所	11,850	11,550	11,850	12,150	12,450		
芝東第4地区住宅市街地総合整備事 業	都市整備部	53,681	55,778	41,997	42,459	42,268	54	拡充して実施
	西部土地区画整理事務所	11,850	11,550	11,850	12,150	12,450		
芝東第3事業費	都市整備部	293,453	353,186	347,800	431,181	661,088	56	拡充して実施
	西部土地区画整理事務所	37,525	42,350	43,450	42,525	48,700		
芝東第4事業費	都市整備部	706,438	650,757	587,263	536,599	795,510	56	拡充して実施
	西部土地区画整理事務所	43,450	42,350	43,450	42,525	48,700		
芝東第5事業費	都市整備部	66,193	78,087	109,982	107,194	85,182	54	拡充して実施
	西部土地区画整理事務所	15,800	15,400	15,800	14,175	19,650		

単位施策名 ② 市街地整備の推進								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
芝東第6事業費	都市整備部	21,192	22,174	12,466	63,010	177,673	54	拡充して実施
	西部土地区画整理事務所	15,800	15,400	15,800	14,175	19,650		
新郷東部第2事業費	都市整備部	647,646	853,139	508,002	1,001,174	1,063,697	56	拡充して実施
	東部土地区画整理事務所	94,800	92,400	85,320	105,300	116,200		
石神西立野特定事業費	都市整備部	728,169	623,999	669,443	769,925	1,224,419	56	拡充して実施
	北部土地区画整理事務所	63,200	61,600	63,200	68,850	70,550		
安行藤八特定事業費	都市整備部	625,061	528,810	490,082	739,996	943,278	56	拡充して実施
	北部土地区画整理事務所	63,200	61,600	63,200	68,850	87,150		
里地区住宅市街地総合整備事業	都市整備部	278,827	150,941	72,230	332,874	228,690	56	拡充して実施
	里土地区画整理事務所	23,700	23,100	23,700	24,300	24,900		
里事業費	都市整備部	813,968	692,386	607,680	684,075	857,822	56	拡充して実施
	里土地区画整理事務所	63,200	61,600	63,200	64,800	66,400		
開発審査事業	都市計画部	484	464	2,221	808	927	58	現状維持で実施
	開発審査課	55,300	53,900	55,300	56,700	58,100		
その他開発審査事業	都市計画部	—	—	—	10,643	—	54	休止
	開発審査課	—	—	—	24,300	—		
西川口駅周辺地区まちづくり協議会支援事業	都市整備部	65	65	0	0	—	38	休止
	再開発課	2,310	2,310	1,817	972	—		
芝東第4事業選挙費	都市整備部	—	—	—	8,938	—	58	休止
	西部土地区画整理事務所	—	—	—	4,050	—		
芝東第5事業選挙費	都市整備部	—	—	—	5,708	—	58	休止
	西部土地区画整理事務所	—	—	—	4,050	—		
石神西立野特定事業選挙費	都市整備部	—	—	—	3,542	—	56	休止
	北部土地区画整理事務所	—	—	—	48,600	—		

単位施策名 ③ 美しくうるおいのある景観形成の推進								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
景観形成委員会経費	都市計画部	125	80	45	73	135	56	現状維持で実施
	都市計画課	1,975	1,925	1,975	2,025	2,075		

単位施策名 ④ 鉄道駅周辺整備の推進								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
川口駅周辺まちづくり検討事業	都市計画部	—	12,260	12,848	18,891	29,942	50	拡充して実施
	都市計画課	—	5,775	5,530	5,670	5,810		
六間通り線機能・魅力向上事業	建設部	0	0	273,972	194,750	552,622	52	現状維持で実施
	道路街路課	0	0	11,850	12,150	12,450		
川口駅周辺街路整備事業	建設部	—	—	—	0	33,309	56	現状維持で実施
	道路街路課	—	—	—	8,100	8,300		

単位施策名	⑤ 良好な住環境の整備							
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
民間建築物アスベスト対策補助事業	都市計画部 建築安全課	0	3,000	3,000	3,000	3,000	56	現状維持で実施
		0	1,540	1,580	1,620	1,660		
住宅政策事業	都市計画部 住宅政策課	716	57,834	71,218	70,272	55,283	54	現状維持で実施
		7,900	19,250	19,750	20,250	20,750		
空家等対策事業	都市計画部 住宅政策課	5,977	5,824	3,575	3,704	12,553	48	拡充して実施
		23,700	15,400	15,800	16,200	16,600		
マンション対策事業	都市計画部 住宅政策課	—	1,860	2,544	2,758	3,301	52	現状維持で実施
		—	7,700	7,900	8,100	8,300		
市営住宅施設運営費	都市計画部 住宅政策課	68,951	68,650	67,282	68,161	68,309	58	現状維持で実施
		3,160	3,080	3,160	3,240	3,320		
市営住宅施設管理費	都市計画部 住宅政策課	277,071	281,326	290,634	323,751	336,366	56	現状維持で実施
		7,900	7,700	7,900	8,100	8,300		
建築審査会経費	都市計画部 建築安全課	674	577	606	864	1,283	56	現状維持で実施
		7,900	7,700	7,900	8,100	8,300		
道路後退用地分筆補助事業	都市計画部 建築安全課	680	1,565	954	1,566	9,600	52	現状維持で実施
		3,160	3,080	3,160	3,240	3,320		
既存建築物耐震改修促進補助事業	都市計画部 建築安全課	6,725	5,402	4,630	6,946	19,529	54	現状維持で実施
		15,800	15,400	15,800	16,200	16,600		
既存ブロック塀等安全対策補助事業	都市計画部 建築安全課	1,693	4,871	6,231	4,404	6,000	56	現状維持で実施
		3,160	3,080	3,160	3,240	3,320		
狭あい道路拡幅整備事業	都市計画部 建築安全課	—	—	5,813	15,036	23,182	52	現状維持で実施
		—	—	3,160	3,240	3,320		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	川口元郷1丁目2番地区優良建築物等整備事業				担当	都市整備部	
						再開発課	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-280-1224	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	4	年度	～	令和	7	年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-① 計画的な土地利用の推進						
根拠法令等	社会資本整備総合交付金交付要綱、川口市優良建築物等整備事業補助金交付要綱						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	当該地は、接道状況が悪く、有効な土地活用がなされてないことから、市街地の整備改善等に資するため、土地の有効活用、高度化等に寄与する優良建築物等を推進し、公共の福祉に寄与することを目的とする。	優良建築物等整備事業を活用し、公共的通路の整備による回遊性の向上と地域貢献施設や共同住宅の複合施設の整備等を行うことで、土地の高度利用を図るもの。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	施設建築物の工事、工事監理に係る補助金交付手続き業務並びに整備内容等への指導・監督・助言等を行った。	・優良建築物等整備事業を施行する事業者に対し、補助金を交付。 交付額 22,580,000円	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	施設建築物工事の工程計画実現	令和6年度は国からの交付金が予算額に達しなかったため指標の目標を達成することができなかったが、当事業における指導・監督・助言を行い、大きな問題もなく施設建築物の工事は順調に進んでおり、適切な事業進捗が図られた。 施設建築物工事進捗率 16.75%(累計29.74%)	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	事業進捗状況				指標・目標値の説明(算定式)	各年度までの補助事業費／全体補助事業費					
	単位	%	指標の種別	活動								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		14.52		8.38		48.61		100.00		—		
実績値・達成状況	0.00		6.97	未達成	20.83	未達成						
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
実績値・達成状況												

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	8 目	7 細目	1 細々目	川口元郷1丁目2番地区優良建築物等整備事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		18,350		11,830		64,280		126,740		0
決算額(B)=(C)+(D)		0		10,758		22,580				
財源※	特定財源(C)	0		5,379		11,290		63,370		
	一般財源(D)	0		5,379		11,290		63,370		
概算人件費(E)		3,465		3,555		4,212		4,731		0
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.45	0.00	0.45	0.00	0.52	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		3,465		14,313		26,792		131,471		0

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 ／60	令和6年度は国からの交付金が予算額に達しなかったため指標の目標を達成することができなかったが、事業者負担の増額や工程の見直しにより、適切な事業進捗が図られた。令和7年度の事業完了に向け、事業者に対して行政手続きのサポートや適切な助言を行うこととともに、関係部局との連携を強化し、事業の円滑な推進を図る。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	完了

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	都市計画事業			担当	都市計画部	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	242-6331	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-① 計画的な土地利用の推進
根拠法令等	都市計画法、都市再生特別措置法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	国全体の課題である少子高齢化・人口減少局面への対応や、鉄道駅周辺の利便性・回遊性の向上、安全で快適な道路交通空間の整備等、地域ごとの課題に対し、持続可能なまちづくりへ向けた市街地環境の整備を図るもの。	適正な土地利用と適切な都市機能の配置を図り、環境にやさしく、災害に強い、機能的で誰もが快適で、安全・安心に生活できる持続可能な都市の形成に加え、階層的な道路ネットワークの形成をめざすもの。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・都市機能及び居住機能の集約などに向けた調査を進めた。 ・樹モールプラザ沿道空地において社会実験を実施した。 ・都市計画道路末広新郷線及び青木神戸線における現況・将来交通量配分の調査を行った。	・都市機能及び居住機能集約の必要性や検討項目等を整理した。 ・樹モールプラザの前の公開空地内に椅子・テーブル等のファニチャーを令和6年10月下旬から約1か月間設置し、賑わい再生に向けた社会実験を行った。 ・都市計画道路末広新郷線及び青木神戸線の計画幅員縮小のための根拠となる調査結果を得た。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	本市において、市民が安心・安全に生活できるまちづくりに向けて今後、都市機能及び居住機能の集約が必要であることを理解した。また、賑わい再生に向けた社会実験により、居心地がよいと感じた方が約96％と肯定的な評価を得ることができたとともに、都市計画道路の計画変更に向け、関係機関との協議を進めた。	各種まちづくり施策を推進することができた一方で誰もが快適で安全・安心に生活できる持続可能な都市を形成するため、引き続き適正な土地利用と適切な都市機能の配置を検討する必要がある。 川口市道路網計画のうち、4路線の手続きが完了している状況であり、他の事業計画の進捗等を考慮しながら順次計画の変更を行う必要がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指標・目標値の説明(算定式)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	単位	指標の種別											
	目標値												
	実績値・達成状況												
指標②	名称	指標・目標値の説明(算定式)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	単位	指標の種別											
	目標値												
	実績値・達成状況												

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	1 目	3 細目	1 細々目	都市計画事業			
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)		10,306		17,290		22,456		12,994		9,511		
決算額(B)=(C)+(D)		9,658		17,243		21,402						
財 源 ※	特定財源(C)	0		0		1,954		0				
	一般財源(D)	9,658		17,243		19,448		12,994				
概算人件費(E)		16,940		19,750		23,085		23,655		23,655		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.20	0.00	2.50	0.00	2.85	0.00	2.85	0.00	2.85	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		26,598		36,993		44,487		36,649		33,166		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	国全体の課題である少子高齢化・人口減少などの社会経済状況への対応や、都市の健全な発展に向けては、都市機能及び居住機能の適切な配置と都市計画道路の早期の完成が求められる。そこで、その実現に向け、適正な土地利用、また道路ネットワークの検討や関係機関との協議を引き続き行う必要がある。	翌年度	縮小して実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	都市計画基礎調査事業				担当	都市計画部	
						都市計画課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	242-6332	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	43	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-① 計画的な土地利用の推進					
根拠法令等	都市計画法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	都市計画法に基づき、都市現況及び将来の見通しを定期的に把握し、各種都市計画やまちづくり事業の施策検討に活用するもの。		調査結果を基に、都市計画の策定とその実施を適切に遂行し、将来にわたって、さらなる選ばれるまちづくりの実現をめざすもの。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・市全域の土地利用現況調査 ・市全域の用途別・階層別建物現況調査		・市全域の土地利用現況の推移の把握 ・市全域の用途別・階層別建物現況の推移の把握		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	都市計画や各種まちづくりの検討にあたって、常に正確な都市の状況を把握しておく必要があることから、当調査による都市の動向や状況の収集・整理を行うことにより、常に正確で適時適切な都市計画の検討が進められた。		当調査により、常に正確で適時適切な都市の動向や状況の収集・整理ができている一方で、本調査で得たデータについて、各種まちづくり施策の各過程において視覚的に把握するための可視化が図られていないことが課題である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	1 目	3 細目	2 細々目	都市計画基礎調査事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		3,052		1,407		3,454		3,685		10,162
決算額(B)=(C)+(D)		2,860		1,340		3,245				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	2,860		1,340		3,245		3,685		
概算人件費(E)		3,850		1,580		2,835		2,905		2,905
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.20	0.00	0.35	0.00	0.35 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,710		2,920		6,080		6,590		13,067

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	不明	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
48 /60	本調査で得たデータ結果の空間分析を視覚的に把握することは、事業実施等各種まちづくりの施策の各過程において有効であるため、今後、地理情報システムを活用してデータの可視化を図っていくことで、庁内関係部局においても基礎的な調査に係るコスト削減につなげていきたい。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	都市計画審議会経費				担当	都市計画部	
						都市計画課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	242-6333	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	44	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-① 計画的な土地利用の推進					
根拠法令等	都市計画法、川口市都市計画審議会条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	1.都市計画法に基づき市が定めようとする都市計画案の調査審議 2.市長の諮問に応じて都市計画に関する事項の調査審議 3.都市計画に関する事項についての関係行政機関への建議		学識経験者や利害関係人等の多様な意見を反映し、行政判断の正当性を高めるもの。	
	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
当該年度の実施内容及び成果	川口駅再整備基本計画案についての報告、生産緑地地区の変更についての諮問、第一種市街地再開発事業の変更についての諮問、高度利用地区の変更についての諮問、地区計画の変更についての諮問、都市計画道路の変更についての報告、川口駅の再整備及び周辺施設への影響等についての報告		第157回 令和6年7月25日 第158回 令和6年11月14日 第159回 令和7年2月4日	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	諮問事項については原案どおり答申がなされた。 報告事項については質疑が行われた。		各諮問事項については行政判断の正当性が高められ、報告事項については様々な意見を承れたことで議論が深まったと考える。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称				指標・目標値の説明(算定式)											
	単位	指標の種別														
	目標値	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	実績値・達成状況															
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)											
	単位	指標の種別														
	目標値	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	実績値・達成状況															

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	1 目	4 細目	1 細々目	都市計画審議会経費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		443		443		444		444		333
決算額(B)=(C)+(D)		396		273		266				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	396		273		266		444		
概算人件費(E)		2,695		2,765		2,835		2,905		2,905
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		3,091		3,038		3,101		3,349	
										3,238

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	都市計画審議会は、学識経験者、市議会議員、市民で構成され、様々な分野の意見を川口の都市計画に反映することができる大切な機会である。案件の内容が多岐にわたり専門用語なども多いため、十分な理解が得られるよう、分かりやすい資料の作成や説明が必要である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	川口駅東口公共広場管理事業				担当	都市整備部	
						都市整備管理課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-280-1219	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-① 計画的な土地利用の推進					
根拠法令等	川口駅東口公共広場設置及び管理条例、川口駅東口公共広場管理規則、川口駅東口公共広場貸出取扱要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	市民に憩いと集いの場を提供することにより、市民相互の交流及び中心市街地の活性化を図ることを目的とする。再開発事業により整備され、待ち合わせからイベント開催まで、幅広く利用されている。		川口駅東口周辺における、市民の憩いと集いの場の確保。地域経済の活性化及びまちの活気づくりへの貢献。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・広場の適切な維持管理 ・イベントスペースの貸出 ・イベント企画内容の審査 ・イベントの開催指導		・広場内清掃 毎日 ・広場の修繕 10カ所 ・イベントスペース利用率(日単位) 21%(前年度比 1%減) ・イベントスペース利用時間 591時間(前年度比 約5%増)		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	・安全に安心して利用できる広場の提供 ・まちの活気づくりへの貢献		・物価上昇や施設の老朽化により維持管理費用が増加。 ・イベントスペース使用料について、相応な受益者負担による料金設定を実施し、財源を確保する必要有。 ・広場の今後の在り方については、川口駅周辺在り方検討委員会において、今後検討が進む見込み。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	イベントスペース利用率(日単位)				指標・目標値の説明(算定式)	利用日／年間日数(利用不可能日を除く)					
	単位	%	指標の種別	成果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況	20.00	—	22.00	—	21.00	—					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	6 目	2 細目	1 細々目	川口駅東口公共広場管理事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		6,410		7,060		8,988		9,943		10,744
決算額(B)=(C)+(D)		5,460		6,167		8,171				
財源※	特定財源(C)	5,188		5,587		6,512		5,833		
	一般財源(D)	272		580		1,659		4,110		
概算人件費(E)		5,390		6,320		8,748		13,280		13,280
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.70	0.00	0.80	0.00	1.08	0.00	
								1.60	0.00	1.60 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		10,850		12,487		16,919		23,223		24,024

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
48 /60	市民が安全に、安心して利用できるよう、広場の適切な維持管理を継続する。令和7年度にイベントスペースの使用料の見直しを実施し、相応な受益者負担による料金設定を行い財源の確保に努める。イベントスペースの利用率向上に向けた、広報活動を推進する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	川口本町4丁目9番地区第一種市街地再開発事業				担当	都市整備部 再開発課	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-280-1224	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 3 年度 ～ 令和 8 年度
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進
根拠法令等	都市再開発法、社会資本整備総合交付金交付要綱、埼玉県市街地再開発促進事業費補助金交付要綱、川口市市街地再開発事業補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	地区内には、6棟の未接道宅地を含む老朽木造住宅、旧耐震共同住宅などが密集しており、防災上危険な地区であるため、建物の共同化を推進しオープンスペースを確保及び不燃化・耐震化による防災性の向上を図るもの。	都市再開発法に基づく第一種市街地再開発事業を実施し、道路等の基盤整備、公益施設と共同住宅の複合施設を建設することで、まちなか居住を推進するもの。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・市街地再開発事業に係る事業計画の変更 ・市街地再開発事業に係る都市計画の変更 ・施設建築物の工事、工事監理に係る補助金等交付手続き業務並びに組合への指導、監督、助言等を行った。	・令和6年9月24日 事業計画(変更)認可 ・令和7年2月28日 都市計画(変更)決定 ・市街地再開発事業を施行する組合に対し補助金及び負担金を交付 交付額 1,246,922千円	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	施設建築物工事の工程計画実現	令和6年度は国・県からの交付金・補助金が予算額に達しなかったため指標の目標を達成することができなかったが、組合への指導、監督、助言等を行い、大きな問題もなく施設建築物工事は順調に進んでおり、適切な事業進捗が図られた。 施設建築物工事進捗率 20.51%(累計28.71%)	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	事業進捗状況			指標・目標値の説明(算定式)	各年度までの補助事業費／全体補助事業費				
	単位	%	指標の種別	活動						
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
		25.50	33.99	67.38	98.85	100.00				
	実績値・達成状況	4.26 未達成	36.44 達成	61.89 未達成						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	8 款	4 項	8 目	6 細目	1 細々目	川口本町4丁目9番地区第一種市街地再開発事業			
年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
予算額(A)	790,820	2,028,128	1,513,122	1,808,500	91,340					
決算額(B)=(C)+(D)	0	1,645,702	1,246,922							
財源※	特定財源(C)	0	1,589,342	1,215,742	1,710,008					
	一般財源(D)	0	56,360	31,180	98,492					
概算人件費(E)	12,320	11,455	12,312	12,201	12,201					
従事職員人数(人)	常勤 再任用	1.60 0.00	1.45 0.00	1.52 0.00	1.47 0.00	1.47 0.00				
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	12,320	1,657,157	1,259,234	1,820,701	103,541					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 ／60	令和6年度は国・県からの交付金・補助金が予算額に達しなかったため指標の目標を達成することができなかったが、組合負担の増額や工程の見直しにより適切な事業進捗が図られた。令和8年度の事業完了に向けて、組合に対して行政手続きのサポートや適切な助言を行うとともに、関係部局との連携を強化し、事業の円滑な進捗を図る。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	縮小して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	市街地総合事業協議会支援事業				担当	都市整備部	
						再開発課	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-280-1220	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	2	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進					
根拠法令等	市街地総合事業協議会補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	川口駅周辺地区住宅市街地総合整備事業への理解・協力をもって住み良いまちづくりの実現に努めることを目的とし、行政と地元の中間的な役割を担う市街地総合事業協議会が行う活動の事業運営等に支援を行うもの。		川口駅周辺地区における、快適な居住空間の創出及び都市機能の更新等を進めるにあたり、市街地総合事業協議会の活動における事業運営費等に支援を行うことで、地域住民のまちづくりに対する意識向上を図るもの。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・市街地総合事業協議会に対し補助金を交付、及び事業運営を支援。 ・総会開催 ・先進都市研究視察 ・まちづくり勉強会開催 ・会報発行		【協議会の活動内容】 6月26日 総会の開催(川口駅前市民ホールフレンジア) 11月22日 先進都市研究視察(渋谷区) 2月19日 まちづくり勉強会の開催(川口駅前市民ホールフレンジア) 3月13日 会報の発行		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	市街地総合事業協議会の活動が行われたことにより、地域住民の住宅市街地整備事業の必要性への理解度の向上を図ることができた。		市街地総合事業協議会の活動について、当初の計画通り進められた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	視察研修開催回数				指標・目標値の説明(算定式)	川口駅周辺のまちづくりの参考となる、先進的な都市を対象とする視察研修の開催回数。					
	単位	回	指標の種別	活動								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		
	実績値・達成状況	1.00	達成	1.00	達成	1.00	達成					
指標②	名称	勉強会開催回数				指標・目標値の説明(算定式)	川口駅周辺のまちづくりの参考となる、画期的な都市政策や手法等を題材とした勉強会の開催回数。					
	単位	回	指標の種別	活動								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		
	実績値・達成状況	1.00	達成	1.00	達成	1.00	達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	8 目	10 細目	1 細々目	市街地総合事業協議会支援事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		200		200		200		135		200	
決算額(B)=(C)+(D)		200		200		200					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	200		200		200		135			
概算人件費(E)		3,850		3,950		4,050		4,150		4,150	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,050		4,150		4,250		4,285		4,350	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 /60	地域住民に川口駅周辺地区のまちづくりに対する更なる意識向上のため、市街地総合事業協議会の活動における事業運営費等について、支援を行う必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	桜町地区住宅市街地総合整備事業				担当	都市整備部	
						再開発課	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-280-1220	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	4	年度	～	令和	13	年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	住宅市街地総合整備事業制度要綱(国土交通省事務次官通知)						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	地区内にある密集住宅市街地において、公共施設の整備や老朽老朽住宅の建替更新を促進し、防災性の向上や住環境の改善を図るため、住宅市街地の再生・整備を総合的に行うことを目的とするもの。	老朽木造住宅の建替を促進することで密集住宅市街地を解消し、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・主要区画道路沿道の用地取得 ・主要区画道路の沿道権利者等を対象に意向調査を実施 ・まちづくり協議会から提出された地区計画の提案書を基に、都市計画変更原案を作成し、原案説明会を実施	・用地取得件数 1件 ・主要区画道路の沿道権利者等を対象に意向調査を実施 129件 ・地区住民を中心に組織されたまちづくり協議会開催 2回 ・まちづくりニュースの発行 2回 ・原案説明会の参加者数 43名	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
・地区住民の事業に対する理解度の向上 ・公共施設用地の確保		地区内の防災性向上や住環境の改善を図るため、地区計画の策定や準防火地域の指定に向け、都市計画変更の手続きを滞りなく進める。継続的に主要区画道路の沿道権利者等の意向調査を実施し、また、優先整備路線の用地測量業務を完了したことで公共施設用地の取得を開始した。 ・道路用地取得進捗率2.17%・公園用地取得進捗率2.76%	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	まちづくり協議会開催				指標・目標値の説明(算定式)	まちづくりの進め方等について意見交換等を行う協議会の開催回数を示したもの。				
	単位	回	指標の種別	活動							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		3.00		3.00		2.00		3.00		2.00	
	実績値・達成状況		4.00	達成	4.00	達成	2.00	達成			
指標②	名称	まちづくりニュースの発行				指標・目標値の説明(算定式)	まちづくりの進め方等について意見交換等を行う協議会の活動報告を示したもの。				
	単位	回	指標の種別	活動							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		3.00		3.00		2.00		3.00		2.00	
	実績値・達成状況		3.00	達成	4.00	達成	2.00	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	8 目	10 細目	3 細々目	桜町地区住宅市街地総合整備事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		25,299		40,943		79,134		64,888		22,303
決算額(B)=(C)+(D)		21,202		10,785		74,491				
財源※	特定財源(C)	10,100		4,950		43,986		51,700		
	一般財源(D)	11,102		5,835		30,505		13,188		
概算人件費(E)		18,480		22,120		22,680		25,315		25,315
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.40	0.00	2.80	0.00	2.80	0.00	3.05
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		39,682		32,905		97,171		90,203		47,618

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	令和6年度までは、まちづくりの進め方等について意見交換などを行うため、協議会を年に概ね3回以上開催した。令和8年度に地区計画の策定や準防火地域の指定について目途が立ったため、今後は、年に2回程度の協議会を開催するなど、まちづくり推進業務委託を効率化して事業を実施することを検討する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	芝中央沿道第1土地区画整理事業				担当	都市整備部	
						市街地整備室	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-271-9262	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～	令和	15	年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	土地区画整理法						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	芝中央沿道第1地区内の権利者(大字芝の一部)に対して、土地区画整理事業を実施し都市計画道路(蕨芝線、芝神根線)とその沿道の市街地整備を行う。		土地利用の最適化とともに、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・減価補償地区として、公共施設に充当するための用地買収 ・都市計画道路の整備		・用地買収 5件 ・道路整備 幅員16m、延長9m		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	・用地買収により、空地が確保できたことで防災性が向上 ・道路整備により、地区内の住環境改善に貢献		・事業進捗率が31.4%となった。 ・仮換地指定に対しての理解を得る必要がある。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	用地買収件数				指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に用地買収を行った件数					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		1.00		5.00		5.00		1.00		0.00		
	実績値・達成状況	0.00 未達成		3.00 未達成		5.00	達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	7 目	1 細目	1 細々目	芝中央沿道第1土地区画整理事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		73,533		188,240		152,574		101,691		253,640	
決算額(B)=(C)+(D)		29,061		104,322		141,985					
財源※	特定財源(C)	21,290		93,817		113,730		27,171			
	一般財源(D)	7,771		10,505		28,255		74,520			
概算人件費(E)		18,865		19,355		19,845		20,335		20,335	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.45	0.00	2.45	0.00	2.45	0.00	2.45	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	47,926		123,677		161,830		122,026		273,975	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性	
56 ／60	令和6年度末の進捗率は31.4%であることから、令和7年度で減価補償地区として必要とする用地買収を完了し、その後、権利者に対して仮換地指定や移転補償交渉を丁寧に行い、計画通りの事業進捗を図りながら令和15年度の事業完了を目指す。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	芝中央沿道土地区画整理事業				担当	都市整備部	
						市街地整備室	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-271-9262	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～	令和	6	年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	土地区画整理法						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	都市計画道路(蔵芝線、芝神根線)とその沿道の市街地整備について、沿道整備計画の方針に基づき事業化を目指す。	芝中央沿道第1土地区画整理事業と連鎖的に行う土地区画整理事業として埼玉県知事からの事業認可を得て事業決定する。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・協議会において、土地区画整理法に定められた縦覧に供する事業計画(案)の内容説明 ・事業計画(案)の縦覧 ・公共施設に充当するための用地買収	・沿道まちづくり協議会 1回開催(27名参加) ・事業計画(案)縦覧 26名 ・用地買収 4件	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・協議会及び縦覧により、地域住民の事業に対する理解度の向上 ・用地買収により公共施設用地の確保	・令和7年3月3日に芝中央沿道第2土地区画整理事業として事業決定し、都市計画道路(蔵芝線、芝神根線)とその沿道の市街地整備を進めていくことの周知が図れた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	沿道まちづくり協議会・運営委員会			指標・目標値の説明(算定式)	事業化区域の確定に向けた地元検討組織の会議支援回数				
	単位	回	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	1.00	達成	1.00	達成	1.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	7 目	1 細目	2 細々目	芝中央沿道土地区画整理事業			
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)		79,842		38,287		203,401		0		0		
決算額(B)=(C)+(D)		67,903		36,962		144,344						
財源※	特定財源(C)	49,590		23,840		129,029		0				
	一般財源(D)	18,313		13,122		15,315		0				
概算人件費(E)		3,080		3,160		3,240		0		0		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	70,983		40,122		147,584		0		0		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 ／60	令和7年度から新規事業「芝中央沿道第2土地区画整理事業」として、芝中央沿道第1土地区画整理事業と連鎖的に事業を推進し、都市計画道路(蔵芝線、芝神根線)とその沿道の市街地整備を行うことで、地区内の密集市街地の解消と不燃化を促進し、防災性の向上及び住環境の改善を図る。	翌年度	完了
		翌々年度	—

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	芝地区住宅市街地総合整備事業				担当	都市整備部	
						市街地整備室	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-271-9262	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	24	年度	～	令和	8	年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	住宅市街地総合整備事業制度要綱(国土交通省事務次官通知)						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	地区内にある密集市街地を住宅市街地総合整備事業(密集住宅市街地整備型)により改善し、地区の防災性・安全性を確保する。	老朽木造住宅の建替を促進することで密集住宅市街地を解消し、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・まちづくり協議会の開催 ・まちづくりニュースの発行 ・道路・公園整備に伴う用地取得 ・主要区画道路の整備	・まちづくり協議会開催 7回 ・まちづくりニュース発行 4回 ・用地買収面積 594.8㎡ ・主要区画道路の整備 274.9m	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・地域住民の事業に対する理解度の向上 ・公共施設用地の確保及び整備	・用地取得率74.90% ・地権者の高齢化等により、交渉において対応が難しい事象が増えている。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	公共施設整備による用地取得の進捗率				指標・目標値の説明(算定式)	都市計画道路を除いた最優先整備路線及び優先整備路線の総取得予定面積(㎡)に対する、過年度の用地取得面積に当該年度当初予算時の用地取得予定面積を加えた面積(㎡)の割合										
	単位	%		指標の種別	結果												
	目標値	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			
		67.30			70.20			73.60			0.00			0.00			
	実績値・達成状況	67.00		未達成	70.10		未達成	74.90		達成							
指標②	名称						指標・目標値の説明(算定式)										
	単位			指標の種別													
	目標値	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			
	実績値・達成状況																

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		8 款	4 項	8 目	10 細目	2 細々目	芝地区住宅市街地総合整備事業			
年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)			342,020		357,173		928,680		742,686		269,384		
決算額(B)=(C)+(D)			272,484		299,545		663,639						
財源※	特定財源(C)		227,445		253,708		601,655		649,805				
	一般財源(D)		45,039		45,837		61,984		92,881				
概算人件費(E)			34,111		34,997		35,883		36,769		36,769		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.43	0.00	4.43	0.00	4.43	0.00	4.43	0.00	4.43	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			306,595		334,542		699,522		779,455		306,153		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 ／60	令和6年度末の主要区画道路の事業進捗率は74.9%であることから、今後は事業を縮小しながら用地取得へ向けた権利者との調整を続ける。また、取得した用地を道路等に的確に整備ができるよう、事業の周知を図り権利者の協力を求める。	翌年度	縮小して実施
		翌々年度	縮小して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	芝中央地区住宅市街地総合整備事業				担当	都市整備部	
						市街地整備室	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-271-9262	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～	令和	8	年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	住宅市街地総合整備事業制度要綱(国土交通省事務次官通知)						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	芝中央地区の権利者に対して、芝中央地区住宅市街地総合整備事業を実施する。	老朽木造住宅の建替を促進することで密集住宅市街地を解消し、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・老朽建築物除却のための物件補償 ・まちづくりニュースの発行	・物件補償 2棟 ・まちづくりニュース発行 1回	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・老朽建築物除却による防災性及び安全性の向上 ・地区内権利者の事業に対する理解度の向上	地区内で同時に施行している土地区画整理事業の進捗率の向上に寄与した。(芝中央沿道第1土地区画整理事業:事業進捗率31.4%)	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	老朽建築物の除却				指標・目標値の説明(算定式)	住宅市街地総合整備事業による老朽建築物の除却棟数					
	単位	棟	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		1.00		3.00		1.00		4.00		4.00		
	実績値・達成状況	1.00	達成	3.00	達成	2.00	達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	8 目	10 細目	5 細々目	芝中央地区住宅市街地総合整備事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		24,948		119,382		45,375		244,895		173,490
決算額(B)=(C)+(D)		17,473		84,149		35,650				
財源※	特定財源(C)	16,090		75,330		31,280		174,910		
	一般財源(D)	1,383		8,819		4,370		69,985		
概算人件費(E)		7,700		7,900		8,100		8,300		8,300
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		25,173		92,049		43,750		253,195	
										181,790

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	同時に施行している芝中央沿道第1土地区画整理事業の令和6年度末の進捗率は31.4%であることから、今後は事業がめざす姿を達成するために、土地区画整理事業の進捗に合わせて権利者との調整を進める。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	新井宿駅北側及び戸塚安行駅南側地区区画整理事業				担当	都市整備部 区画整理課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-280-1207	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 元 年度 ～ 令和 9 年度
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進
根拠法令等	構造改革特別区域法・土地区画整理法・都市計画法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	本地区は市街化調整区域内に位置し、農業中心の土地利用を想定しているが、後継者不足等を背景とした農地の減少や無秩序な土地利用の転換が懸念されており、新たな土地利用を可能とするまちづくりが求められている。	農地と住宅地が共存する駅周辺にふさわしいまちづくりを進めるため、新井宿駅北側地区及び戸塚安行駅南側地区の市街化調整区域において、市施行による土地区画整理事業の事業化を目指す。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・権利者に対する土地区画整理事業等に関する説明会を両地区各1回開催(同様の内容で平日と休日の延べ10回開催) ・権利者に対する意向調査を両地区各1回実施 ・地区界測量を実施	・新井宿駅北側地区(対象者125人) 説明会参加人数 計53人 意向調査返信数 72通 ・戸塚安行駅南側地区(対象者297人) 説明会参加人数 計95人 意向調査返信数 167通 ・地区界測量(新井宿駅北側地区20.8ha 戸塚安行駅南側地区23.8ha)	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
・事業方針や事業内容を、権利者へ周知及び情報の共有。 ・事業に対する意見や意向を把握し、計画の修正。 ・事業認可取得へ前進。		現在、両地区では、事業化にかかる各種調査及び測量等を行っており、並行して、権利者との合意形成を図りながら事業認可に向けて計画通り準備を進めている。 令和9年度の認可申請を目指し、より詳細な検討業務の実施や権利者対応等が必要となることから、今後、増加が見込まれる事業量への対応が課題となっている。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	新井宿駅北側地区の土地区画整理事業等に関する説明会			指標・目標値の説明(算定式)	新井宿駅北側地区の土地区画整理事業等に関する説明会実施回数				
	単位	回	指標の種別	活動						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	1.00	未達成	1.00	達成	1.00	達成			
指標②	名称	戸塚安行駅南側地区の土地区画整理事業等に関する説明会			指標・目標値の説明(算定式)	戸塚安行駅南側地区の土地区画整理事業等に関する説明会実施回数				
	単位	回	指標の種別	活動						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	1.00	未達成	1.00	達成	1.00	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	8 款	4 項	7 目	1 細目	3 細々目	新井宿駅北側及び戸塚安行駅南側地区区画整理事業			
年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)	72,800	46,169		49,494		69,164		131,952		
決算額(B)=(C)+(D)	71,026	26,719		49,275						
財源※	特定財源(C)	22,000		8,427		15,673		4,000		
	一般財源(D)	49,026		18,292		33,602		65,164		
概算人件費(E)		18,480		20,540		21,060		21,580		21,580
従事職員人数(人)		常勤	再任用	2.40	0.00	2.60	0.00	2.60	0.00	2.60 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		89,506		47,259		70,335		90,744		153,532

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	引き続き、事業認可にかかる検討業務及び権利者との合意形成業務を行うとともに、事業量の増加に伴う事業費及び人員の確保については、関係部局と調整を図る。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	組合区画整理推進事業費				担当	都市整備部	
						区画整理組合推進室	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-294-2774	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	62	年度	～	令和	18	年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	土地区画整理法, 川口市社会資本整備総合計画, 埼玉県社会資本整備総合計画						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	川口市戸塚南部特定土地区画整理組合及び川口市戸塚東部特定土地区画整理組合に対して、補助金の交付や技術的支援を行い、土地区画整理事業の完了を目指し、都市基盤の整備を図る。		土地利用の最適化とともに、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	川口市戸塚南部特定土地区画整理組合及び川口市戸塚東部特定土地区画整理組合に対して、補助金交付等や技術支援。		各組合の技術支援 川口市戸塚南部特定土地区画整理組合:清算金等徴収交付委託など。 川口市戸塚東部特定土地区画整理組合: ・街路整備工事 62m ・移転物件補償 2棟ほか	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・川口市戸塚南部特定土地区画整理組合の清算金等徴収交付業務の実施。 ・川口市戸塚東部特定土地区画整理組合の業務委託、街路築造工事、建物等物件補償などの実施。 事業全体進捗率の向上:0.5%(累計86.3%) 地区内交通の利便性向上		・川口市戸塚南部特定土地区画整理組合については、事業完了に向け概ね計画どおりに進んでいる。 ・川口市戸塚東部特定土地区画整理組合については、調整池整備、移転補償や基盤整備を実施するため、国費を含む財源の確保などが課題となり、事業の長期化とならないような事業執行が求められる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	物件補償棟数(組合区画整理推進事業費)			指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に建物移転を行った棟数。 当初予算と実施計画を勘案して設定。						
	単位	棟	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		4.00		6.00		4.00		6.00		8.00		
	実績値・達成状況	4.00	達成	6.00	達成	2.00 未達成						

指標②	名称	街路築造工事延長(組合区画整理推進事業費)			指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に道路築造した工事延長。 当初予算と実施計画を勘案して設定。						
	単位	m	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		78.00		154.31		334.00		301.00		325.00		
	実績値・達成状況	88.00	達成	126.71	未達成	62.00 未達成						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市計画土地区画整理事業特別会計 1 款 1 項 3 目 1 細目 2 細々目 組合区画整理推進事業費									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		397,530		627,860		507,660		662,481		1,119,437	
決算額(B)=(C)+(D)		392,523		605,160		500,037					
財源※	特定財源(C)	48,524		251,570		60,729		241,200			
	一般財源(D)	343,999		353,590		439,308		421,281			
概算人件費(E)		123,200		126,400		129,600		132,800		132,800	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	16.00	0.00	16.00	0.00	16.00	0.00	16.00	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	515,723		731,560		629,637		795,281		1,252,237	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	7 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	低かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
48 /60	川口市戸塚南部特定土地区画整理組合には、清算金収納率が96.6%となり組合解散に向けた残事業に伴う技術支援をする。川口市戸塚東部特定土地区画整理組合には、事業終盤に向けて計画等を十分精査しながら、丁寧な地権者交渉を行い、確実な事業執行を図れるため、事業資金の安定的な確保が行えるよう技術支援をする。		翌年度	拡充して実施
			翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	芝東第3地区住宅市街地総合整備事業				担当	都市整備部	
						西部土地区画整理事務所	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-266-6600	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	元	年度	～	令和	20	年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	住宅市街地総合整備事業制度要綱(国土交通省事務次官通知)						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	芝東第3土地区画整理事業地区内において、移転が遅れている老朽住宅密集地の権利者の早期の生活再建と防災性の向上、住環境の改善を図るため住宅市街地総合整備事業の合併施行により土地区画整理事業の進捗を図る。	老朽木造住宅の建替を促進することで密集住宅市街地を解消し、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・土地区画整理事業推進のため、移転物件補償の実施。 ・土地区画整理事業推進のため、移転物件調査の実施。	・老朽建築物除却補償 1棟 ・物件調査委託 1件	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
芝東第3土地区画整理事業全体進捗率の向上:1.4%(累計48.7%)		令和6年度末の進捗率は48.7%である。移転待機状態による事業長期化の解消、老朽住宅密集地の改善が課題である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	老朽建築物除却棟数(芝東第3)			指標・目標値の説明(算定式)	建物除却を行った棟数 当初予算の計画数を目標値として設定				
	単位	棟	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	1.00	達成	1.00	達成	1.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	8 目	10 細目	6 細々目	芝東第3地区住宅市街地総合整備事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		31,231		19,579		28,500		36,500		22,000
決算額(B)=(C)+(D)		28,542		18,108		27,626				
財源※	特定財源(C)	19,000		11,263		21,423		30,400		
	一般財源(D)	9,542		6,845		6,203		6,100		
概算人件費(E)		11,550		11,850		12,150		12,450		12,450
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		40,092		29,958		39,776		48,950		34,450

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	令和6年度末の進捗率は48.7%であることから、今後、早期に住宅密集地の防災性を向上させ住環境の改善を図るため、年間の建物除却数を増やす。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	芝東第4地区住宅市街地総合整備事業				担当	都市整備部	
						西部土地区画整理事務所	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-266-6600	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	元	年度	～	令和	20	年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	住宅市街地総合整備事業制度要綱(国土交通省事務次官通知)						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	芝東第4土地区画整理事業地区内において、移転が遅れている老朽住宅密集地の権利者の早期の生活再建と防災性の向上、住環境の改善を図るため住宅市街地総合整備事業の合併施行により土地区画整理事業の進捗を図る。		老朽木造住宅の建替を促進することで密集住宅市街地を解消し、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・土地区画整理事業推進のため、移転物件補償の実施。 ・土地区画整理事業推進のため、移転物件調査の実施。		・老朽建築物除却補償 2棟 ・物件調査委託 1件	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	芝東第4土地区画整理事業全体進捗率の向上:0.9%(累計68.5%)		令和6年度末の進捗率は68.5%である。移転待機状態による事業長期化の解消、老朽住宅密集地の改善が課題である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	老朽建築物除却棟数(芝東第4)			指標・目標値の説明(算定式)	建物除却を行った棟数 当初予算の計画数を目指値として設定				
	単位	棟	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	3.00	達成	2.00	達成	2.00	達成			5.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	8 目	10 細目	7 細々目	芝東第4地区住宅市街地総合整備事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		65,543		42,760		45,448		42,268		92,263
決算額(B)=(C)+(D)		55,778		41,997		42,459				
財源※	特定財源(C)	43,420		33,718		37,393		35,100		
	一般財源(D)	12,358		8,279		5,066		7,168		
概算人件費(E)		11,550		11,850		12,150		12,450		12,450
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		67,328		53,847		54,609		54,718		104,713

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	令和6年度末の進捗率は68.5%であることから、今後、早期に住宅密集地の防災性を向上させ住環境の改善を図るため、年間の建物除却数を増やす。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	芝東第3事業費				担当	都市整備部	
						西部土地地区画整理事務所	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-266-6600	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	7	年度	～	令和	26	年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	土地区画整理法						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	芝東第3土地区画整理事業地内の道路、公園等の都市基盤の整備により、良好な住環境を有する市街地の形成を図る。		土地利用の最適化とともに、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・保留地処分の実施 ・移転物件調査の実施 ・街路整備工事、造成工事の実施 ・物件補償の実施		・保留地処分 6区画 162. 8㎡ ・移転物件調査 4件 ・街路整備工事 321. 3m ・建物補償 10棟		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	・事業全体進捗率の向上:1.4% ・地区内交通の利便性向上		事業の長期化、高台区域における埋蔵文化財の発掘調査に時間を要していること等が課題である。令和6年度末の進捗率は48. 7%である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	物件補償棟数(芝東第3)			指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に建物移転を行った棟数 当初予算と実施計画を勘案して設定				
	単位	棟	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		7.00		8.00		11.00		12.00		12.00
	実績値・達成状況	3.00	未達成	7.00	未達成	10.00	達成			
指標②	名称	街路築造工事延長(芝東第3)			指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に街路築造した工事延長 当初予算と実施計画を勘案して設定				
	単位	m	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		165.00		642.00		233.00		565.00		356.00
	実績値・達成状況	265.90	達成	502.90	未達成	321.30	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市計画土地区画整理事業特別会計 2 款 2 項 1 目 1 細目 2 細々目 芝東第3事業費									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		424,622		393,424		494,685		661,088		822,337	
決算額(B)=(C)+(D)		353,186		347,800		431,181					
財源※	特定財源(C)	324,515		309,184		383,659		578,265			
	一般財源(D)	28,671		38,616		47,522		82,823			
概算人件費(E)		42,350		43,450		42,525		48,700		48,700	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.50	0.00	5.50	0.00	5.25	0.00	5.75	0.25
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		395,536		391,250		473,706		709,788		871,037	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 ／60	令和6年度末の進捗率は48. 7%であることから、今後、作業ヤードの借り上げも視野に入れ、時間を要している埋蔵文化財の発掘調査の進捗を図るほか、住宅市街地総合整備事業との合併施行により、早期完了を目指す。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	芝東第4事業費				担当	都市整備部	
						西部土地区画整理事務所	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-266-6600	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	元	年度	～	令和	25	年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	土地区画整理法						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	芝東第4土地区画整理事業地内の公共施設の整備を行い、合理的な土地利用を図ると共に、良好な住環境と景観を有する住宅地として整備を図る。		土地利用の最適化とともに、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・保留地処分の実施 ・移転物件調査の実施 ・街路整備工事、造成工事の実施 ・物件補償の実施		・保留地処分 13区画 381.8㎡ ・移転物件調査 9件 ・街路整備工事 988.4m ・建物補償 9棟	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・事業全体進捗率の向上:0.9% ・地区内交通の利便性向上		要移転戸数の多くが玉突き移転となっているため、移転が思うように進まないことが課題である。令和6年度末の進捗率は68.5%である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	物件補償棟数(芝東第4)			指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に建物移転を行った棟数 当初予算と実施計画を勘案して設定				
	単位	棟	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		7.00		13.00		11.00		18.00		19.00
	実績値・達成状況	9.00	達成	12.00	未達成	9.00	未達成			
指標②	名称	街路築造工事延長(芝東第4)			指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に街路築造した工事延長 当初予算と実施計画を勘案して設定				
	単位	m	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		275.00		469.00		610.00		580.00		558.00
	実績値・達成状況	1,382.50	達成	432.00	未達成	988.40	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市計画土地区画整理事業特別会計 2 款 3 項 1 目 1 細目 2 細々目 芝東第4事業費									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		789,304		698,942		625,304		795,510		860,160	
決算額(B)=(C)+(D)		650,757		587,263		536,599					
財源※	特定財源(C)	598,833		519,245		481,402		703,708			
	一般財源(D)	51,924		68,018		55,197		91,802			
概算人件費(E)		42,350		43,450		42,525		48,700		47,725	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.50	0.00	5.50	0.00	5.25	0.00	5.75	0.25
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		693,107		630,713		579,124		844,210		907,885	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
56 ／60	令和6年度末の進捗率は68. 5%であることから、今後、集団移転や現道を活かした道路整備等により、事業進捗を図るとともに、住宅市街地総合整備事業との合併施行により、早期完了を目指す。		翌年度	拡充して実施
			翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	芝東第5事業費				担当	都市整備部	
						西部土地区画整理事務所	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-266-6600	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	54	年度	～	令和	15	年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	土地区画整理法						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	芝東第5土地区画整理事業地内の公共施設の整備を行い、健全な住環境を有する市街地の形成を図る。		土地利用の最適化とともに、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・移転物件調査の実施 ・土地評価委託の実施 ・公共事業引継書作成委託の実施		・移転物件調査 2件 ・土地評価委託 1件 ・公共事業引継書作成委託 1件		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	事業完了に必要な換地処分の実施。		事業完了に向けた事業費の確保、残事業の処理が課題である。令和6年度末の進捗率は99.3%である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	物件補償件数(芝東第5)			指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に移転を行った件数 当初予算と実施計画を勘案して設定				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	2.00	達成	1.00	達成	1.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市計画土地区画整理事業特別会計 2 款 4 項 1 目 1 細目 2 細々目 芝東第5事業費									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		106,261		134,778		133,103		85,182		105,366	
決算額(B)=(C)+(D)		78,087		109,982		107,194					
財源※	特定財源(C)	22,370		37,060		129		21,090			
	一般財源(D)	55,717		72,922		107,065		64,092			
概算人件費(E)		15,400		15,800		14,175		19,650		18,675	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	1.75	0.00	2.25	0.25
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		93,487		125,782		121,369		104,832		124,041	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 ／60	令和6年度末の進捗率は99.3%であることから、今後、残事業については、そのほとんどが難航箇所であるため、引き続き解決に向けて折衝を行う。		翌年度	拡充して実施
			翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	芝東第6事業費				担当	都市整備部	
						西部土地区画整理事務所	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-266-6600	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	60	年度	～	令和	16	年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	土地区画整理法						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	芝東第6土地区画整理事業地内の公共施設の整備を行い、健全な住環境を有する市街地の形成を図る。	土地利用の最適化とともに、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・移転物件調査の実施 ・土地評価委託の実施	換地処分準備となる事業を主に実施した。 ・移転物件調査 3件 ・土地評価委託 1件	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	事業完了に必要な換地処分の実施。	事業完了に向けた事業費の確保、残事業の処理が課題である。令和6年度末の進捗率は97.0%である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	物件補償件数(芝東第6)				指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に移転を行った件数 当初予算と実施計画を勘案して設定				
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00	
	実績値・達成状況	5.00	達成	0.00	未達成	1.00	達成				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市計画土地区画整理事業特別会計 2 款 5 項 1 目 1 細目 2 細々目 芝東第6事業費									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		57,252		26,017		81,262		177,673		209,893	
決算額(B)=(C)+(D)		22,174		12,466		63,010					
財源※	特定財源(C)	21,662		3,320		29,302		101,642			
	一般財源(D)	512		9,146		33,708		76,031			
概算人件費(E)		15,400		15,800		14,175		19,650		18,675	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	1.75	0.00	2.25	0.25
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		37,574		28,266		77,185		197,323		228,568	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	令和6年度末の進捗率は97.0%であることから、今後、残事業については、そのほとんどが難航箇所であるため、引き続き解決に向けて折衝を行う。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	新郷東部第2事業費				担当	都市整備部	
						東部土地区画整理事務所	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-284-0100	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	10	年度	～	令和	25	年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	土地区画整理法						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	道路、公園等の公共施設を整備改善すると同時に、新郷多目的遊水地事業及び辰井川改修事業を行うことで浸水被害を無くし、事業地内の権利者の安全快適な居住環境の整備を図ることを目的とする。		土地利用の最適化とともに、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・仮換地指定 ・街路築造工事 ・造成工事 ・物件補償		・仮換地指定:5,596.8㎡ ・街路築造工事:88.9m ・造成工事:6225.9㎡ ・物件補償:23棟	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・事業全体進捗率の向上:0.8%(24.4%から25.2%) ・地区内交通の利便性が向上		建物補償を23棟実施し、道路用地等の工事を実施したが、物価高騰による影響などを受け、一部計画通りに着手できなかった。 治水対策として辰井川整備が急務であり、更なる整備の加速が求められているが、補償対象者が多く、また、物価高等の影響を受けていることから、限られた予算、人員を計画的に配置し、事業を執行する。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	物件補償棟数(新郷東部第2)			指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に建物移転を行った棟数 当初予算と実施計画を勘案して設定				
	単位	棟	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		23.00		12.00		28.00		23.00		27.00
	実績値・達成状況	29.00	達成	6.00	未達成	23.00	未達成			
指標②	名称	街路築造工事延長(新郷東部第2)			指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に街路築造工事した工事延長 当初予算と実施計画を勘案して設定				
	単位	m	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		1,370.00		1,700.00		1,370.00		745.00		800.00
	実績値・達成状況	1,524.10	達成	1,572.40	未達成	1,387.60	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市計画土地区画整理事業特別会計 2 款 1 項 1 目 1 細目 2 細々目 新郷東部第2事業費									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		1,053,450		827,574		1,270,095		1,063,697		1,495,952	
決算額(B)=(C)+(D)		853,139		508,002		1,001,174					
財源※	特定財源(C)	788,887		462,968		869,552		838,486			
	一般財源(D)	64,252		45,034		131,622		225,211			
概算人件費(E)		92,400		85,320		105,300		116,200		116,200	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	12.00	0.00	10.80	0.00	13.00	0.00	14.00	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	945,539		593,322		1,106,474		1,179,897		1,612,152	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
56 ／60	早期整備を行う必要があるが対象件数が多く、また地権者の高齢化等により協力が得られない状況も生まれている。令和6年度末の進捗率は25.2%であることから、今後においては事業をより推進するための方策として、仮換地計画の変更や民間事業者の活用による業務支援を受け、今後の事業期間短縮に向けて総合的に対応する。		翌年度	拡充して実施
			翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	石神西立野特定事業費				担当	都市整備部	
						北部土地区画整理事務所	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-295-1009	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	6	年度	～	令和	35	年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	土地区画整理法						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	埼玉高速鉄道線戸塚安行駅へのアクセス道路の整備、並びに、今後住宅地の需要が高まることが予想されることから、土地区画整理事業により、都市機能(生活環境・利便性・防災性)の向上、改善を目的とする。		土地利用の最適化とともに、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・仮換地指定 ・物件補償及び業務委託として物件補償調査 ・街路築造工事、造成工事 ・保留地処分		・街路整備工事717.1m ・換地に伴う物件補償として建物18棟 ・工作物補償等11件	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・事業全体進捗率の向上:1.4% ・地区内交通の利便性向上		国庫補助金の内示額が減少傾向にあるため、追加要望を行うなど特定財源の確保に努めたが、一部事業が実施できなかった。令和6年度末現在の進捗率は57.9%である。今後の課題は、事業費の確保および事業の長期化である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	物件補償棟数(石神西立野)				指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に物件補償を行った棟数 当初予算と実施計画に基づき設定					
	単位	棟	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		18.00		16.00		16.00		18.00		18.00		
実績値・達成状況	7.00	未達成	9.00	未達成	18.00	達成						

指標②	名称	街路築造工事延長(石神西立野)				指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に街路築造した工事延長 当初予算と実施計画に基づき設定					
	単位	m	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		495.00		298.00		272.00		437.00		437.00		
実績値・達成状況	310.40	未達成	229.30	未達成	337.50	達成						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市計画土地区画整理事業特別会計 2 款 6 項 1 目 1 細目 2 細々目 石神西立野特定事業費									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		791,967		855,543		879,054		1,224,419		1,584,140	
決算額(B)=(C)+(D)		623,999		669,443		769,925					
財源※	特定財源(C)	553,530		520,942		654,332		1,052,650			
	一般財源(D)	70,469		148,501		115,593		171,769			
概算人件費(E)		61,600		63,200		68,850		70,550		70,550	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	8.00	0.00	8.00	0.00	8.50	0.00	8.50	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	685,599		732,643		838,775		1,294,969		1,654,690	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
56 ／60	令和6年度末の進捗率は、57.9%である。今後事業費の確保については、保留地予定地の計画的な整備を進め、安定的な財源確保に努める。事業の長期化については、協力を得られていない一部地権者に対して、仮換地案に対する意見調整を進め、建物移転を円滑に行うことにより、街路築造工事等の進捗を図る。		翌年度	拡充して実施
			翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	安行藤八特定事業費				担当	都市整備部	
						北部土地区画整理事務所	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-295-1009	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	9	年度	～	令和	26	年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	土地区画整理法						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	最寄り駅である戸塚安行駅へのアクセス道路の整備及び今後、住宅地の需要が高まることが予想されることから、安行藤八特定土地区画整理事業地内の権利者に対し良好な住宅地を供給するため都市基盤整備を目的とする。		土地利用の最適化とともに、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・仮換地指定 ・物件補償及び業務委託として物件補償調査 ・街路築造工事、造成工事 ・保留地処分		・街路整備工事702.0m ・換地に伴う物件補償として建物20棟 ・工作物補償等18件		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	・事業全体の進捗率の向上:1.5% ・地区内交通の利便性向上		国庫補助金の内示額が減少傾向にあるため、追加要望を行うなど特定財源の確保に努めたが、一部事業が実施できなかった。令和6年度末現在の進捗率は43.5%である。今後の課題は、事業費の確保と事業の長期化である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	物件補償棟数(安行藤八)				指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に物件補償を行った棟数 当初予算と実施計画に基づき設定					
	単位	棟	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		22.00		13.00		16.00		18.00		18.00		
実績値・達成状況		9.00	未達成	10.00	未達成	20.00	達成					
指標②	名称	街路築造工事延長(安行藤八)				指標・目標値の説明(算定式)	当初年度に物件補償を行った棟数 当初予算と実施計画に基づき設定					
	単位	m	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		578.00		396.00		337.00		774.40		774.40		
実績値・達成状況		189.00	未達成	213.80	未達成	353.60	達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市計画土地区画整理事業特別会計 2 款 7 項 1 目 1 細目 2 細々目 安行藤八特定事業費									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		774,119		648,471		872,130		943,278		1,542,912	
決算額(B)=(C)+(D)		528,810		490,082		739,996					
財源※	特定財源(C)	474,291		424,699		664,637		826,850			
	一般財源(D)	54,519		65,383		75,359		116,428			
概算人件費(E)		61,600		63,200		68,850		87,150		87,150	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	8.00	0.00	8.00	0.00	8.50	0.00	10.50	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	590,410		553,282		808,846		1,030,428		1,630,062	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
56 ／60	令和6年度末の進捗率は43.5%である。今後事業費の確保については保留地予定地の計画的な整備を進め、安定的な財源確保に努める。事業の長期化については、協力を得られていない一部地権者に対して、仮換地案に対する意見調整を進め、建物移転を円滑に行うことにより、街路築造工事等の進捗を図る。		翌年度	拡充して実施
			翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	里地区住宅市街地総合整備事業				担当	都市整備部	
						里土地区画整理事務所	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-286-2888	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	24	年度	～	令和	13	年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	住宅市街地総合整備事業制度要綱(国土交通省事務次官通知)						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	里土地区画整理事業地区内において移転が遅れている老朽住宅密集地の権利者の早期の生活再建と防災性の向上、住環境の改善を図るため、住宅市街地総合整備事業の合併施行により、土地区画整理事業の進捗を図る。		老朽木造住宅の建替を促進することで密集住宅市街地を解消し、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・土地区画整理事業推進のため移転物件補償の実施。 ・土地区画整理事業推進のため移転物件調査の実施。		・老朽建築物除却補償 13棟 ・次年度補償予定の物件調査委託 16件	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	里土地区画整理事業全体進捗率の向上:1.2%(累計84.0%)		老朽建築物の除却を実施したことにより、住宅市街地総合整備事業及び合併施行である土地区画整理事業の進捗が図られ、市街地整備の推進に寄与した。しかしながら、事業が長期化しており、一層の事業進捗を図るため、的確な計画の立案及び必要な財源と人員の確保に努める。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	老朽建築物除却棟数			指標・目標値の説明(算定式)	建物除却を行った棟数 当初予算の計画数を目標値として設定				
	単位	棟	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	8.00	達成	2.00	達成	13.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	8 目	10 細目	8 細々目	里地区住宅市街地総合整備事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		172,705		90,201		360,001		228,690		255,850
決算額(B)=(C)+(D)		150,941		72,230		332,874				
財源※	特定財源(C)	122,710		50,960		282,374		194,300		
	一般財源(D)	28,231		21,270		50,500		34,390		
概算人件費(E)		23,100		23,700		24,300		24,900		24,900
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.00	0.00	3.00	0.00	3.00	0.00	3.00 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	174,041		95,930		357,174		253,590		280,750

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
56 ／60	効率性・期待どおりの成果判定において、目標値は未達成だが、概ね予定通り執行できたことから期待どおりと評価した。令和6年度末の進捗率は84.0%である。今後とも合併施行である土地区画整理事業の進捗を図り、老朽建築物除却補償を計画的に実施し、老朽住宅密集地の防災性の向上及び住環境の改善を図っていく。		翌年度	拡充して実施
			翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	里事業費				担当	都市整備部	
						里土地区画整理事務所	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-286-2888	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	元	年度	～	令和	19	年度
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	土地区画整理法						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	埼玉高速鉄道線鳩ヶ谷駅を拠点として公共施設等の整備改善を進めることにより、未整備のままスプロール化した地区の再編成を行い、健全で良好な市街地整備および権利者の住環境向上を図る。	土地利用の最適化とともに、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・土地区画整理事業推進のため街路整備工事を実施。 ・土地区画整理事業推進のため宅地造成工事を実施。 ・土地区画整理事業推進のため移転物件補償を実施。 ・土地区画整理事業推進のため委託業務を実施。	・街路整備工事 802.1m ・宅地造成工事 7,312㎡ ・移転物件補償 15棟ほか ・次年度工事、補償予定の道路実施設計、物件調査委託ほか	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・事業全体進捗率の向上:1.2%(累計84.0%) ・地区内交通の利便性向上	街路整備工事や物件補償等を実施したことにより、土地区画整理事業の進捗が図られ、市街地整備の推進に寄与した。しかしながら、事業が長期化しており、一層の事業進捗を図るため、的確な計画の立案及び必要な財源と人員の確保に努める。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	物件補償棟数(里)			指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に物件補償を行った棟数 当初予算と実施計画を勘案して設定				
	単位	棟	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		19.00		15.00		17.00		18.00		25.00
	実績値・達成状況	17.00	未達成	11.00	未達成	15.00	未達成			
指標②	名称	街路築造工事延長(里)			指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に街路築造した工事延長 当初予算と実施計画を勘案して設定				
	単位	m	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		937.00		788.00		634.00		1,077.00		1,016.00
	実績値・達成状況	823.50	未達成	843.00	達成	802.10	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市計画土地区画整理事業特別会計 2 款 8 項 1 目 1 細目 2 細々目 里事業費									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		907,436		769,775		815,477		857,822		1,759,654	
決算額(B)=(C)+(D)		692,386		607,680		684,075					
財源※	特定財源(C)	627,000		501,258		602,419		706,563			
	一般財源(D)	65,386		106,422		81,656		151,259			
概算人件費(E)		61,600		63,200		64,800		66,400		74,700	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	8.00	0.00	8.00	0.00	8.00	0.00	9.00	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	753,986		670,880		748,875		924,222		1,834,354	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 ／60	効率性・期待どおりの成果判定において、移転物件補償棟数の目標値は未達成であったが、予算は概ね予定通り執行できたため期待どおりと評価した。令和6年度末の進捗率は84.0%である。今後ともボトルネックとなっている移転対象者の仮換地変更を積極的に行い、現道をいかにすなどの事業計画変更を進め事業進捗を図る。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	開発審査事業				担当	都市計画部	
						開発審査課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5551	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進				
根拠法令等	都市計画法第29条、34条他				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市民、土地所有者、不動産業者、建築業者の事業計画に対する、都市計画法に基づく乱開発の防止。 スプロール化の抑制		スプロールの弊害を除去し、都市住民に健康で文化的な生活を保障し、機能的な経済活動の運営を確保する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・開発許可申請に関する許認可事務 ・市街化調整区域内における建築許可 ・申請に関する許認可事務		・開発許可申請 56件 ・開発許可 59件 ・開発審査会の開催 4回	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	開発に係る許認可事務等を行うことで、法令に基づく適切な開発となり、乱開発の防止、スプロール化の抑制につながった。		民間等の事業計画に対する審査事業であるため、永続的なものであり、進捗状況は不確定である。課題としては、専門性が極めて高く、法律、経済、公衆衛生、都市計画、建築の各分野に精通していることが求められ、職員及び委員の各々の力量の維持及び向上が必要となる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	1 目	8 細目	1 細々目	開発審査事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		788		2,693		1,209		927		1,061
決算額(B)=(C)+(D)		464		2,221		808				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	464		2,221		808		927		
概算人件費(E)		53,900		55,300		56,700		58,100		58,100
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	7.00	0.00	7.00	0.00	7.00	0.00	7.00 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	54,364		57,521		57,508		59,027		59,161

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
58 /60	開発審査会の委員については、専門性が極めて高く、法律、経済、公衆衛生、都市計画、建築の各分野に精通していることが求められる。職員及び委員の各々の力量の維持及び向上が課題となる為、計画的な人事異動及び人員配置が必要である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	その他開発審査事業				担当	都市計画部	
						開発審査課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5551	新規・継続	新規	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 6 年度 ~ 令和 6 年度
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進
根拠法令等	宅地造成及び特定盛土等規制法第4条第1項

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	全部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	盛土等に伴う災害の防止のための対策に必要な基礎調査として、本市に存在する既存盛土等の分布状況を把握し、応急対策の必要性の判断や安全性把握調査の優先度評価を行うことを目的とする。	成果品として、調査報告書、公表用図書(既存盛土分布図)、安全性把握調査及び経過観察の実施方法に関する提案書の提出	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・造成前後の差分析による既存盛土の抽出 ・公道等からの現地確認による応急対策の必要性の判断 ・安全性把握調査の優先度評価 ・安全性把握調査及び経過観察の実施方法の提案 ・学識経験者との検討会 ・調査報告書及び公表用資料案の作成	・既存盛土:20箇所 ・応急対策が必要となる盛土:0箇所 ・安全性把握調査の優先度評価の結果:A1(1箇所)、A2(5箇所)、A3(1箇所)、B2(5箇所)、C1(1箇所)、C2(5箇所) ・学識経験者との検討会(実施日:令和7年3月24日)	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
本市に存在する既存盛土の分布状況、応急対策、安全性把握調査、経過観察が必要となる盛土を把握することができた。		本調査では昭和36年から令和3年の間に造成された既存盛土について調査を行った。当該調査はおおむね5年ごとに対象年代・対象規模を変更して調査を行うこととなっているため、災害防止のための基礎調査の適切な準備を行っていく。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度		令和5年度	令和6年度		令和7年度	令和8年度
	実績値・達成状況							
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度		令和5年度	令和6年度		令和7年度	令和8年度
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	1 目	8 細目	3 細々目	その他開発審査事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		0		0		15,791		0		0
決算額(B)=(C)+(D)		0		0		10,643				
財源※	特定財源(C)	0		0		5,321		0		
	一般財源(D)	0		0		5,322		0		
概算人件費(E)		0		0		24,300		0		0
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0		0		34,943		0		0

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	宅地造成及び特定盛土等規制法第4条第1項において、おおむね5年ごとに基礎調査を実施することが規定されているため、次回の調査については、令和11年度に実施する予定。	翌年度	休止
		翌々年度	休止

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	西川口駅周辺地区まちづくり協議会支援事業				担当	都市整備部	
						再開発課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-280-1224	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 22 年度 ~ 令和 6 年度
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進
根拠法令等	西川口駅周辺地区まちづくり協議会補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	平成23年度に策定した西川口駅周辺まちづくり基本構想の具体化を目指し、まちづくりの推進を図る西川口駅周辺まちづくり協議会が行う活動における事業運営費等に支援を行うもの。	西川口駅周辺地区におけるまちづくりの推進を図るため、西川口駅周辺まちづくり協議会の活動における事業運営費等に支援を行うことで、地域住民のまちづくりに対する意識向上を図るもの。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	西川口駅周辺地区まちづくり協議会は活動を休止しているが、今後の活動について、会長から意見聴取を行った。	西川口駅周辺地区まちづくり協議会が活動を休止しているため、実績なし。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
西川口駅周辺地区まちづくり協議会が、活動を休止しているため、実績なし。		西川口駅周辺地区まちづくり協議会では、規約に定められた役員数が満たされていないこと、また、平成23年度に策定した基本構想について、年数経過による当地域に求められるまちづくりの事柄が様変わりし、当協議会の在り方が不明確となっていることより、令和5年度から、活動を一時休止している。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	視察研修開催回数				指標・目標値の説明(算定式)	西川口駅周辺の課題解決に資する視察研修の開催回数。					
	単位	回	指標の種別	活動								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		1.00		1.00		1.00		—		—		
実績値・達成状況		0.00	未達成	0.00	未達成	0.00	未達成					
指標②	名称	勉強会開催回数				指標・目標値の説明(算定式)	西川口駅周辺の課題解決に資する勉強会の開催回数。					
	単位	回	指標の種別	活動								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		1.00		1.00		1.00		—		—		
実績値・達成状況		1.00	達成	0.00	未達成	0.00	未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	8 目	3 細目	2 細々目	西川口駅周辺地区まちづくり協議会支援事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		150		150		150		0		0
決算額(B)=(C)+(D)		65		0		0				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	65		0		0		0		
概算人件費(E)		2,310		1,817		972		996		996
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.23	0.00	0.12	0.00	0.12 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,375		1,817		972		996		996

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	5 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	不明	
効率性	コストに対する成果	不明	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
38 /60	今後において、西川口駅周辺地区まちづくり協議会の活動が再開された際には、西川口駅周辺のまちづくりを推進するため、引き続き活動について支援を行う必要がある。	翌年度	休止
		翌々年度	—

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	芝東第4事業選挙費				担当	都市整備部	
						西部土地区画整理事務所	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-266-6600	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 6 年度	～	令和 6 年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進		
根拠法令等	土地区画整理法		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	土地区画整理審議会委員の任期満了に伴う選挙。		土地区画整理事業により、都市機能(生活環境・利便性・防災性)の向上、改善を目的とする。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	芝東第4土地区画整理審議会委員の改選を実施。		芝東第4土地区画整理審議会の成立。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	審議会諮問を要する事業の円滑な推進		令和6年度末現在の進捗率は68.5%である。 審議会委員の改選を5年ごとに行うため、臨時予算が必要となる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市計画土地区画整理事業特別会計 2 款 3 項 2 目 1 細目 1 細々目 芝東第4事業選挙費									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		0		0		9,834		0		0	
決算額(B)=(C)+(D)		0		0		8,938					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	0		0		8,938		0			
概算人件費(E)		0		0		4,050		0		0	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	0		0		12,988		0		0	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 ／60	審議会委員の改選を5年ごとに行うため、臨時予算が必要となる。	翌年度	休止
		翌々年度	休止

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	芝東第5事業選挙費				担当	都市整備部	
						西部土地区画整理事務所	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先		新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	6	年度	～	令和	6	年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等							

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	土地区画整理審議会委員の任期満了に伴う選挙。		土地区画整理事業により、都市機能(生活環境・利便性・防災性)の向上、改善を目的とする。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	芝東第5土地区画整理審議会委員の改選を実施。		芝東第5土地区画整理審議会の成立。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	審議会諮問を要する事業の円滑な推進		令和6年度末現在の進捗率は99.3%である。審議会委員の改選を5年ごとに行うため、臨時予算が必要となる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市計画土地区画整理事業特別会計 2 款 4 項 2 目 1 細目 1 細々目 芝東第5事業選挙費									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		0		0		6,776		0		0	
決算額(B)=(C)+(D)		0		0		5,708					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	0		0		5,708		0			
概算人件費(E)		0		0		4,050		0		0	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0		0		9,758		0		0	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 ／60	審議会委員の改選を5年ごとに行うため、臨時予算が必要となる。	翌年度	休止
		翌々年度	休止

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	石神西立野特定事業選挙費				担当	都市整備部	
						北部土地区画整理事務所	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-295-1009	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 6 年度 ~ 令和 6 年度
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進
根拠法令等	土地区画整理法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	土地区画整理審議会委員の任期満了に伴う選挙	土地区画整理事業により、都市機能(生活環境・利便性・防災性)の向上、改善を目的とする。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	石神西立野特定土地区画整理審議会委員の改選を実施。	石神西立野特定土地区画整理審議会の成立。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	審議会諮問を要する事業の円滑な推進	令和6年度末現在の進捗率は43.5%である。 審議会委員の改選を5年ごとに行うため、臨時予算が必要となる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)								
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)								
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市計画土地区画整理事業特別会計 2 款 6 項 2 目 1 細目 1 細々目 石神西立野特定事業選挙費									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		0		0		4,285		0		0	
決算額(B)=(C)+(D)		0		0		3,542					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	0		0		3,542		0			
概算人件費(E)		0		0		48,600		0		0	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	0		0		52,142		0		0	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	審議会委員の改選を5年ごとに行うため、臨時予算が必要となる。	翌年度	休止
		翌々年度	休止

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	景観形成委員会経費				担当	都市計画部	
						都市計画課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6333	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	19	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-③ 美しくうるおいのある景観形成の推進					
根拠法令等	川口市景観形成条例、川口市屋外広告物条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	本市における良好な景観の形成及び適正な屋外広告物の表示等の推進を図るため必要な事項の調査審議を行うもの。		学識経験者や利害関係人等の多様な意見を反映し、政策の質や正当性を高めるもの。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	埼玉県屋内50m水泳場・川口市北スポーツセンター及び神根西公民館整備計画についての報告及び諮問 新しい広告媒体の取り扱いに関する見直しについての議論		第35回 令和6年8月5日 第36回 令和7年1月28日		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	諮問事項については原案どおり答申がなされた。 報告事項については質疑が行われた。		諮問事項については行政判断の正当性が高められ、その他の事項については様々な意見を承れたことで議論が深まったと考える。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	1 目	5 細目	1 細々目	景観形成委員会経費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		135		135		135		135		90
決算額(B)=(C)+(D)		80		45		73				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	80		45		73		135		
概算人件費(E)		1,925		1,975		2,025		2,075		2,075
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		2,005		2,020		2,098		2,210	
										2,165

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 ／60	委員会は必要な時期に適切かつ有意義に開催されている状況にあり、急変する社会情勢に対応するには必要があると考える。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	川口駅周辺まちづくり検討事業				担当	都市計画部	
						都市計画課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	242-6331	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	4	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-④ 鉄道駅周辺整備の推進					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	令和4年3月策定の川口駅周辺まちづくりビジョンを実現するもの。	川口駅周辺まちづくりビジョンで示した、『「住みやすいまち」を超えて、働き、憩い、文化・芸術に親しめるまちとして発展することで、「住み続けたいまち」・「さらなる選ばれるまち」をめざすもの。』	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・令和6年1月に示されたJR東日本による調査報告書を受け、中距離電車停車に伴う鉄道用地拡張により想定される、川口駅西口公共施設の改修に関する検討を行った。 ・川口駅周辺在り方検討委員会を設置した。	・川口駅西口公共施設への影響範囲を想定した改修(案)の作成 ・改修(案)後の駐輪場の構造解析結果 ・想定される施工ステップ ・令和7年1月24日に第1回検討委員会を開催した。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・想定される今後のスケジュールの共有 ・JR東日本の工事着手前に本市で行うべき工事内容の整理 ・工事内容に関する関係各課との共有、協議	川口駅周辺まちづくりビジョンで示した交通拠点リニューアルプロジェクトにおける鉄道輸送力の増強を実現するため、中距離電車停車に伴う鉄道用地拡張により想定される、川口駅西口公共施設の改修に関する検討を行えた。 今回作成した改修(案)を基に、工期縮減やコスト削減を図るため、合理的な設計や施工の方法等を検討する必要がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	1 目	3 細目	10 細々目	川口駅周辺まちづくり検討事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		12,650		12,848		18,964		29,942		31,706
決算額(B)=(C)+(D)		12,260		12,848		18,891				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	12,260		12,848		18,891		29,942		
概算人件費(E)		5,775		5,530		5,670		5,810		5,810
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.75	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		18,035		18,378		24,561		35,752		37,516

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
50 /60	川口駅周辺のまちづくりにおいては、中距離電車のホームの増設に向けたJRとの協議、各プロジェクト等の検討項目があるため、それらの動向を引き続き注視・調整しながら本業務を進める必要がある。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	六間通り線機能・魅力向上事業				担当	建設部
						道路街路課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	280-1223	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-④ 鉄道駅周辺整備の推進					
根拠法令等	都市計画法第59条第1項					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	JR川口駅とSR川口元郷駅を結節する都市計画道路の幅幅を通じて、安全・快適かつ機能的な都市活動に寄与するもの。	都市計画道路「元郷駅六間通り線」及び「駅前六間通り線」の幅幅整備を行い、歩行者移動の円滑化や街中のにぎわいを創出するもの。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・買収予定マンションの権利者交渉及び借家人補償交渉・契約 ・次年度以降買収予定地の物件調査委託の実施 ・機能魅力向上方策検討委託の実施 (にぎわい創出に向けたアンケート調査を含む) ・昨年度買収箇所等の管理工事	・借家人補償:17件 ・当該計画地内の用地買収契約の了承を得た。 ・物件調査委託:2件 ・方策等検討委託:1件(アンケート調査含む) アンケート回答数:841件(回答率:40.9%) ・管理工事:2件(昨年度買収箇所等)	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・事業進捗率の上昇 ・沿線の権利者のニーズを把握し、事業の今後の方向性を確認できた。	・事業の進捗は毎年度進んでいる。 ・権利者交渉を行う事業であり、また未買収案件について、権利者が複数存在する箇所が散見していることから、契約締結までに時間を要することが予見される。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	10 目	2 細目	1 細々目	六間通り線機能・魅力向上事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		0		406,710		761,577		552,622		994,586
決算額(B)=(C)+(D)		0		273,972		194,750				
財源※	特定財源(C)	0		251,900		136,856		480,300		
	一般財源(D)	0		22,072		57,894		72,322		
概算人件費(E)		0		11,850		12,150		12,450		12,450
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0		285,822		206,900		565,072		1,007,036

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	用地買収の難航に伴う事業の長期化が課題。本路線はマンションや店舗等の大型物件が多数未買収の状態であり、今後も困難な調査・交渉が予期されるため、入念な準備と工夫が求められる。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	川口駅周辺街路整備事業				担当	建設部	
						道路街路課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	280-1222	新規・継続	新規	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	6	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-④ 鉄道駅周辺整備の推進					
根拠法令等	都市計画法第59条第1項					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	「川口駅周辺市外市整備構想」に基づく事業であり、川口駅周辺の環状道路等の整備を通じて、同駅周辺に集中している通過交通を分散させ、地域の活性化及び都市機能充実を促し、良好な都市空間の形成を目的とするもの。		川口駅周辺の通過交通を分散させることにより、歩行者の安全・快適性の向上に加え、防災性等の都市機能が充実すること。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	権利者交渉 2件		令和6年度での買収はできなかったが、次年度での買収について内諾を得た。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	令和7年度買収予定 1件		今後も川口駅周辺の交通分散による、安全・快適性の向上を継続していくが、用地買収の必要があり、事業終了まで長期化が想定される。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	10 目	2 細目	2 細々目	川口駅周辺街路整備事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		0		0		10,333		33,309		85,586
決算額(B)=(C)+(D)		0		0		0				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		27,100		
	一般財源(D)	0		0		0		6,209		
概算人件費(E)		0		0		8,100		8,300		8,300
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0		0		8,100		41,609		93,886

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
56 /60	用地買収の難航に伴う事業の長期化が懸念される。本事業はマンション等の大型物件が多数未買収の状態である路線を含んでおり、今後も困難な調査・交渉が予期されるため、入念な準備と工夫が求められる。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	民間建築物アスベスト対策補助事業				担当	都市計画部	
						建築安全課	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-242-6367	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	22	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好な住環境の整備					
根拠法令等	川口市民間建築物アスベスト対策事業補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	アスベスト含有の恐れのある建築物所有者に対して注意、啓発を行うことで、アスベストの飛散による市民の健康被害を防止し、生活環境の保全を図る。		アスベストの飛散による市民の健康被害の防止により、安全で安心して暮らすことのできる良好な住環境の形成を図る。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	建築物のアスベスト除去等を実施する所有者等に対して経費の一部を補助。 ・アスベスト含有吹付け建材の除去に要した費用の2/3の額の補助		建築物アスベスト対策事業 1件 補助金額 3,000,000円		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	当該建築物所有者及び施設利用者、近隣住民をはじめとした市民等の健康被害の防止を図ることができた。		市内には依然としてアスベストの飛散の恐れのある建築物が存在していることから引き続き事業を実施する必要性がある。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	4 目	3 細目	2 細々目	民間建築物アスベスト対策補助事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		3,000		3,000		3,000		3,000		3,000
決算額(B)=(C)+(D)		3,000		3,000		3,000				
財源※	特定財源(C)	1,500		1,500		1,500		1,500		
	一般財源(D)	1,500		1,500		1,500		1,500		
概算人件費(E)		1,540		1,580		1,620		1,660		1,660
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		4,540		4,580		4,620		4,660		4,660

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 ／60	市内にはアスベストを含有する建築物が存在しているため、今後も市ホームページへの掲載、所有者への案内など積極的な周知を行い事業の促進に努めたい。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	住宅政策事業				担当	都市計画部	
						住宅政策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6326	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	27	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好な住環境の整備					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	住民福祉の向上を目的に、高齢者・子育て世帯・住宅確保要配慮者への住環境改善や既存住宅の有効活用を進め、災害時には迅速かつ柔軟な住居提供を行います。		市民の「安全・安心・快適」な居住環境の実現のために、現代社会が抱える課題に対し、住宅を通じた具体的な解決策を講じています。これらの業務を通じ、地域全体の持続可能な発展を支援する役割を果たしています。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・住宅政策の企画・立案を通じた住環境整備の推進。 ・住宅、建築物に関する相談窓口の運営と対応。 ・住宅改修資金助成による既存住宅の有効活用促進。 ・サービス付き高齢者向け住宅、住宅確保要配慮者向け賃貸住宅登録支援。		・省エネルギー基準の向上やバリアフリー化を支援。 ・市内の景気活性化。(改修工事を市内の業者が請け負うことで経済効果が生まれる) ・住宅改修資金助成金制度を利用した住宅改修件数:年間812件。 ・市内業者による施工を支援し、地域経済効果として1,516,925,055円を創出。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・建築相談窓口を提供し、市民の住まいに関する課題や相談に対応しました。 ・住宅改修資金の一部助成を行い、安全で快適な住環境づくりを支援しました。 ・市民が安心して住み続けられるよう、良好な住環境の整備を促進しました。		政策による成果が一定程度確認されている一方で、災害対応、住宅供給の偏りや不足といった課題が依然として残っています。「誰もが“安全で快適に暮らせるまち”を実現するために、地域特性や対象者の多様性を踏まえながら、政策を柔軟に拡充することが今後重要となります。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	5 項	1 目	4 細目	1 細々目	住宅政策事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		60,085		73,585		72,203		55,283		55,283
決算額(B)=(C)+(D)		57,834		71,218		70,272				
財源※	特定財源(C)	5,431		3,591		2,062		1,751		
	一般財源(D)	52,403		67,627		68,210		53,532		
概算人件費(E)		19,250		19,750		20,250		20,750		20,750
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.50	0.00	2.50	0.00	2.50	0.00	2.50
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		77,084		90,968		90,522		76,033		76,033

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	住宅改修資金助成金については、長引く物価高騰や申請状況等を注視しつつ、限られた予算の中でより一層費用対効果を高めるべく、事業を実施していく必要がある。今後、市内の住宅改修事業者の需要の更なる需要喚起に向けて事業を実施するように努める。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	空家等対策事業			担当	都市計画部 住宅政策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-7805	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	27	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好な住環境の整備					
根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法、川口市空家等対策に関する条例、川口市空家対策協議会条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	・空き家対策を実施することにより、良好な住環境を整備していくことを目的とする。		・良好な住環境	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・空家等への相続財産清算人選任申立て ・未接道老朽家屋に対する除却補助金		・空家等への相続財産清算人選任申立て(3件) ・未接道老朽家屋に対する除却補助金(1件)	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・市民から通報があった空き家のうち、老朽化した不良住宅を除却することで市民の安全が向上し、所有者がおらず今後適切な維持管理が行われる見込みのないものに管理人を付けることで売却等が行われる。		・市民からの通報により空き家を確認しているため、通報がない場合は空き家がそのままの状況になってしまっている。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	相談があった空き家の問題解決率			指標・目標値の説明(算定式)	改善措置が講じられた相談空家等の累計件数÷相談空き家等の累計件数			
	単位	%	指標の種別	成果					
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		67.00		67.00		67.00		67.00	
	実績値・達成状況	70.00	達成	68.00	達成	67.00	達成		
指標②	名称	所有者不明の空家等の解消			指標・目標値の説明(算定式)	略式代執行の執行件数+相続及び不在者財産管理人選任の申立件数			
	単位	件	指標の種別	成果					
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		1.00		1.00		1.00		1.00	
	実績値・達成状況	5.00	達成	2.00	達成	3.00	達成		

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	5 項	1 目	4 細目	2 細々目	空家等対策事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		6,513		10,751		9,813		12,553		6,595
決算額(B)=(C)+(D)		5,824		3,575		3,704				
財源※	特定財源(C)	396		760		322		1,801		
	一般財源(D)	5,428		2,815		3,382		10,752		
概算人件費(E)		15,400		15,800		16,200		16,600		16,600
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	21,224		19,375		19,904		29,153		23,195

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
48 ／60	空き家問題は本来的には民事で解決すべきであるところ行政が関与することになったものの、民事法制や不動産法制の改正もあり、解決した案件が増えている。空き家に関する法律の改正も行われ、今後より解決に向かう案件の増加、また、行政としての対応手段の拡張に繋がると考えている。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	マンション対策事業				担当	都市計画部	
						住宅政策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-7805	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	4	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好な住環境の整備					
根拠法令等	マンションの管理の適正化の推進に関する法律、マンションの管理の適正化の推進に関する法律施行規則、川口市マンション管理適正化推進条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	都市化の進展や市民の住生活を取り巻く環境の変化に伴い、多数の区分所有者が居住するマンションの重要性が増大していることに鑑み、マンションの区分所有者等に対し、マンションの管理の適正化等を推進する。		マンションにおける良好な居住環境の確保を図ることを目的とする。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・管理不全の兆候があるマンションに対し管理適正化の支援 ・法第5条の4に基づく管理計画の認定 ・条例第8条に基づくマンション管理状況等の定期報告 ・条例第14条に基づくマンションの防災性能及び管理組合の防災体制の認定 ・マンションに関する相談及びマンション管理士派遣		・管理不全の兆候があるマンションに対し、マンション管理士を派遣し、管理規約及び修繕積立金等に関する支援を実施。 ・法第5条の4に基づく管理計画の認定(2件) ・条例第8条に基づくマンションの管理状況等の定期報告 ・マンションに関する相談(16件) ・マンション管理士派遣(1件4回)	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	マンションにおける良好な居住環境の確保が図られた。		条例第8条に基づくマンションの管理状況等の定期報告において、報告がないマンションが一定数存在している。マンション管理の適正化を推進するための措置を講ずるには、市内マンションの現状を把握することが重要であることから、報告がないマンションに対して、どのように報告を促していくかが課題となる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	マンション管理相談件数				指標・目標値の説明(算定式)	年間相談可能件数の60%					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		22.00		22.00		22.00		22.00		22.00		
	実績値・達成状況	30.00	達成	23.00	達成	16.00	未達成					
指標②	名称	川口市防災認定マンション認定数				指標・目標値の説明(算定式)	新規認定数及び2年に1度の更新認定数					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		
	実績値・達成状況	2.00	達成	0.00	未達成	2.00	達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	5 項	1 目	6 細目	1 細々目	マンション対策事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		2,380		3,061		3,301		3,301		3,301	
決算額(B)=(C)+(D)		1,860		2,544		2,758					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	1,860		2,544		2,758		3,301			
概算人件費(E)		7,700		7,900		8,100		8,300		8,300	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	9,560		10,444		10,858		11,601		11,601	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	条例に基づくマンションの管理状況の報告がないマンションに対して報告を促し、市内の分譲マンションの管理状況の把握に努める。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	市営住宅施設運営費				担当	都市計画部	
						住宅政策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6325	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好な住環境の整備				
根拠法令等	公営住宅法				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市営住宅入居者に対し、適正な市営住宅の運営を行う。		市営住宅を適正に運営する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・継続して独立行政法人都市再生機構から賃貸住宅を借上げ、市営住宅として運用した。 ・明渡等請求訴訟については対象者に該当するものがないため実施していない。 ・住宅使用料等の口座振替を行った。 ・納付済通知書のデータ化(日計処理)業務委託を行った。		独立行政法人都市再生機構から借上げた賃貸住宅の戸数:69戸 住宅使用料等の口座振替件数:22,711件 日計処理件数:5,266件	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	継続して独立行政法人都市再生機構から公営住宅を借上げるにより、市内の住宅困窮者が入居可能な住戸を確保した。 入居者が住宅使用料等を支払う際の利便性の向上、収納率向上及び収納事務の効率化に繋がった。		借上げている公営住宅の賃貸借契約について、今後更新を行うのか、更新しない場合は空き住戸への入居を進めていくのか等を検討する必要がある。また、依然として滞納の解消に至っていない入居滞納者がいるため、今後も悪質な滞納者に対しては明渡等請求訴訟の提起を行い、適正な市営住宅運営を継続する必要がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	5 項	2 目	2 細目	1 細々目	市営住宅施設運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		72,218		72,028		70,903		68,309		68,309
決算額(B)=(C)+(D)		68,650		67,282		68,161				
財源※	特定財源(C)	40,332		38,964		37,208		41,330		
	一般財源(D)	28,318		28,318		30,953		26,979		
概算人件費(E)		3,080		3,160		3,240		3,320		3,320
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	71,730		70,442		71,401		71,629		71,629

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
58 /60	令和6年度は訴訟対象案件がなかったが、住宅使用料等の滞納長期化は、市営住宅の明渡等請求訴訟、その後の強制執行、差押え等につながり、多くの業務量や費用が必要となるため、平時より住宅使用料等の滞納の早期解消に努める。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	市営住宅施設管理費				担当	都市計画部	
						住宅政策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6325	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	25	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好な住環境の整備					
根拠法令等	公営住宅法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	市内に居住し、真に住宅に困窮する低所得者に対し、市営住宅を提供する。 市営住宅入居者に対し、適正な市営住宅の管理を行う。		市営住宅の入居者を募集し、市営住宅を適正に管理する。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・川口市を含む県内13自治体、約38,000戸の管理実績により培ったノウハウ等を持つ埼玉県住宅供給公社に市営住宅管理の管理代行及び業務委託を行った。 ・市営住宅の募集を年3回実施した。 ・住宅使用料の滞納者へ督促状、催告書を発送し、悪質な滞納者へは夜間臨宅を実施することで債権回収を強化した。		・市営住宅募集戸数:112戸、市営住宅入居戸数:53戸 ・督促状発送件数:1,977件 ・催告書発送件数:610件 ・夜間臨宅件数:7件		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	住宅困窮者へ住居を提供するとともに、市営住宅の入居者に係る様々な対応等を行い、市営住宅の適正な管理を行った債権回収業務を継続したことにより令和6年度も住宅使用料収納率99%を達成した。		悪質滞納者の滞納解消に至っていないケースがあるため、今後も随時面談等を実施していく必要がある。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	5 項	2 目	3 細目	1 細々目	市営住宅施設管理費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		288,339		299,246		324,331		336,366		336,366
決算額(B)=(C)+(D)		281,326		290,634		323,751				
財源※	特定財源(C)	281,326		290,634		323,751		336,366		
	一般財源(D)	0		0		0		0		
概算人件費(E)		7,700		7,900		8,100		8,300		8,300
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		289,026		298,534		331,851		344,666	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
56 ／60	応募可能な住宅を確保するため、住戸の小規模修繕等を適切に管理し実施する。また、平時より住宅使用料の滞納解消のため、滞納者への面談・訪問を実施し、適切な市営住宅の管理を行う。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	建築審査会経費				担当	都市計画部	
						建築安全課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6343	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	46	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好な住環境の整備					
根拠法令等	建築基準法、川口市建築審査会条例、川口市建築審査会規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	特定行政庁(川口市)から建築基準法に基づく特例許可への同意を求められた際の審議や処分に不服のある者から審査請求があった場合の裁決等を公平中立的な立場で行う。		建築行政の適正化を図り、安全・安心なまちづくりを進める。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	令和6年度は川口市建築審査会を9回開催し、建築基準法に規定する許可の申請について審議を行った。		接道規定に関する許可19件 第一種低層住居専用地域内における建築物の用途制限に関する許可1件 総合設計制度による許可1件	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	建築基準法に規定する許可の申請について、交通上や安全上等において支障がないことの審議を行い、全て同意した。		許可処分の内容に応じ、それぞれの基準に基づき公共の福祉の観点から公正な判断を行い、建築行政において大きな役割を担った。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称				指標・目標値の説明(算定式)											
	単位	指標の種別														
	目標値	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	実績値・達成状況															
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)											
	単位	指標の種別														
	目標値	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	実績値・達成状況															

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	4 目	2 細目	1 細々目	建築審査会経費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		1,081		1,335		1,253		1,283		1,283
決算額(B)=(C)+(D)		577		606		864				
財源※	特定財源(C)	577		606		864		1,283		
	一般財源(D)	0		0		0		0		
概算人件費(E)		7,700		7,900		8,100		8,300		4,150
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	0.50
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		8,277		8,506		8,964		9,583		5,433

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
56 ／60	事業の遂行には、建築関係法令に精通した高い専門的知識と公共の福祉に関し公正な判断力が求められる。そのため、建築審査会委員及び特定行政庁に携わる職員は、研修会等に積極的に参加し新しい知識を身につけ、様々な業務経験を積み、スキルアップを図っていく必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	道路後退用地分筆補助事業				担当	都市計画部 建築安全課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6344	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	4	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好な住環境の整備					
根拠法令等	川口市道路後退用地整備要綱、川口市道路後退用地整備要領、川口市道路後退用地整備要綱補助金交付基準					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	災害時や日常の自動車、歩行者等の通行に支障をきたしている幅員4m未満の狭あい道路(公道)に接している土地所有者に建築等で道路幅員4mを確保するよう後退した部分(後退用地)の分筆と市への寄附を促す。		狭あい道路が拡幅整備されることにより、緊急時や災害時はもとより、日常生活においても安全性、利便性が向上した住環境の形成を図る。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	当該年度において、後退用地を寄附した際にかかる経費の一部を補助。 ・分筆に係る調査、測量、登記等の経費の2/3(限度額12万円)		分筆に係る補助 14件 補助金額合計 1,566,000円		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	狭あい道路の拡幅による、周辺の安全性、利便性の向上。		市内には依然として多数の狭あい道路があることから引き続き事業を行っていく必要性がある。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	4 目	3 細目	1 細々目	道路後退用地分筆補助事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		1,680		1,680		9,600		9,600		9,600
決算額(B)=(C)+(D)		1,565		954		1,566				
財源※	特定財源(C)	0		0		1,483		9,100		
	一般財源(D)	1,565		954		83		500		
概算人件費(E)		3,080		3,160		3,240		3,320		3,320
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,645		4,114		4,806		12,920		12,920

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
52 /60	建築に伴う寄附が条件であることから景気の動向に左右される面があり、申請件数は例年並みの実績であった。制度について、ホームページへの掲載、チラシの配布等により引き続き周知を図っていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	既存建築物耐震改修促進補助事業				担当	都市計画部	
						建築安全課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6344	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好な住環境の整備					
根拠法令等	川口市既存建築物耐震改修補助金交付要綱、川口市既存建築物耐震診断補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	昭和56年5月31日(木造在来軸組構法2階建て住宅は平成12年5月31日)以前に工事を着手し、建築された、住宅(共同住宅等を含む)の所有者等に耐震診断、耐震改修工事費を補助する。		既存建築物の耐震改修を促進し、大規模地震発生時における建築物の倒壊等による災害を防止し、安全で安心して暮らせるまちづくりが形成される。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	耐震性のない建築物所有者等に対し経費の一部を補助。 ・耐震診断費用の2/3(戸建住宅は上限6万5千円。共同住宅は1戸当たり5万円、上限150万円。多数の者が利用する建築物は上限150万円)。 ・耐震改修費用の23%を補助。戸建住宅は上限40万円。共同住宅等は1戸あたり30万円、上限300万円。		耐震診断 20件 耐震改修工事 7件 補助金額合計 6,946,000円	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	耐震性のない建築物の耐震化。		市内には依然として多数の耐震化されていない建築物があることから引き続き事業を行っていく必要がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	住宅の耐震化率			指標・目標値の説明(算定式)	耐震化率:1ー(耐震性なしの旧耐震基準住戸数÷総住戸数)×100%にて算出。川口市耐震改修促進計画による耐震化率の目標は令和7年度末で95%。							
	単位	%	指標の種別	成果									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
		95.00		95.00		95.00		95.00		95.00			
	実績値・達成状況	91.10	未達成	91.50	未達成	91.63	未達成						
指標②	名称	多数の者が利用する建築物の耐震化率			指標・目標値の説明(算定式)	耐震化率は上記と同じ計算式。川口市耐震改修促進計画による耐震化率の目標値は令和2年度末で95%、3年度以降はおおむね解消とする。							
	単位	%	指標の種別	成果									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
		95.00		95.00		95.00		95.00		95.00			
	実績値・達成状況	91.00	未達成	91.10	未達成	91.70	未達成						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	4 目	3 細目	3 細々目	既存建築物耐震改修促進補助事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		5,650		5,419		6,946		19,529		11,800	
決算額(B)=(C)+(D)		5,402		4,630		6,946					
財源※	特定財源(C)	2,701		2,315		3,473		10,491			
	一般財源(D)	2,701		2,315		3,473		9,038			
概算人件費(E)		15,400		15,800		16,200		16,600		16,600	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	20,802		20,430		23,146		36,129		28,400	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性	
54 /60	住宅及び多数の者が利用する建築物の耐震化を進めているが、令和6年度末の耐震化率(住宅:95%、多数の者が利用する建築物:95%)は未達成となった。 令和3年度に改訂した耐震改修促進計画に基づき、耐震化を促進していく。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	既存ブロック塀等安全対策補助事業				担当	都市計画部	
						建築安全課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6367	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	元	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好な住環境の整備					
根拠法令等	川口市既存ブロック塀等安全対策補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	・通学路に面する倒壊するおそれのある既存ブロック塀等の撤去又は改修の促進。 ・H30年大阪北部地震でブロック塀が倒壊し、通学途中の児童が犠牲になる事故が発生した。		地震等により倒壊するおそれのある既存ブロック塀等の撤去工事及び改修工事により、倒壊による被害を未然に防止し、通学途中の児童生徒をはじめとした市民の安全を確保する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	通学路に面する既存ブロック塀等の撤去工事及び改修工事を実施する所有者等に対して経費の一部を補助。 ・撤去工事:経費の2/3(限度額30万円)を補助 ・改修工事:経費の2/3(限度額20万円)を補助		17件の補助を行った。 補助金額合計 4,404,000円	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・危険と判断した既存ブロック塀等の解消 ・通学路の安全確保		市内には依然として危険と判断した既存ブロック塀等が存在していることから是正率の達成に向けて引き続き事業を実施する。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	4 目	3 細目	4 細々目	既存ブロック塀等安全対策補助事業			
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)		6,000		6,231		4,704		6,000		6,000		
決算額(B)=(C)+(D)		4,871		6,231		4,404						
財源※	特定財源(C)	2,409		3,115		2,202		3,000				
	一般財源(D)	2,462		3,116		2,202		3,000				
概算人件費(E)		3,080		3,160		3,240		3,320		3,320		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,951		9,391		7,644		9,320		9,320		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性	
56 ／60	市内には依然として危険と判断した既存ブロック塀等が存在しているが、所有者等による撤去、改修は景気に左右されるなど整備が進まない状況である。引き続き、広報誌への掲載、所有者等に案内など周知活動を行うほか、市内の設計事務所、工事施工業者等との協力体制を活用し事業の促進に努めたい。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	狭あい道路拡幅整備事業				担当	都市計画部	
						建築安全課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6344	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	5	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅴ 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好な住環境の整備					
根拠法令等	川口市狭あい道路拡幅整備助成金交付要綱、川口市狭あい道路拡幅整備助成金交付要領、川口市狭あい道路拡幅整備助成金交付基準					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	後退義務のない狭あい道路に接する角地等の土地所有者に、当該狭あい道路の後退用地及び隅切り用地について市への寄附を促す。		狭あい道路が拡幅整備されることにより、緊急時や災害時はもとより、日常生活においても安全性、利便性が向上した住環境の形成を図る。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	後退用地を寄附した際にかかる経費の一部を補助。 ・分筆登記助成:経費の2/3 上限35万円 ・支障物撤去助成:経費の2/3 上限30万円 ・道路拡幅協力助成:上限95万円※ ・隅切り設置協力助成:上限25万円※ ※面積×固定資産税路線価		3件の補助を行った。 補助金額合計 3,046,000円		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	狭あい道路の拡幅による、周辺の安全性、利便性の向上。		市内には依然として多数の狭あい道路があることから引き続き事業を行っていく必要がある。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	4 目	3 細目	7 細々目	狭あい道路拡幅整備事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		0		19,000		31,330		23,182		17,000
決算額(B)=(C)+(D)		0		5,813		15,036				
財源※	特定財源(C)	0		5,506		14,813		22,282		
	一般財源(D)	0		307		223		900		
概算人件費(E)		0		3,160		3,240		3,320		3,320
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0		8,973		18,276		26,502		20,320

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
52 /60	後退義務のない角地等における市への寄附であることから、所有者等に狭あい道路の拡幅について丁寧に説明を行い協力を得なければならない。補助金交付件数は若干減少した。今後も土地所有者等に協議を行っていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施